

令和3年度第1回姫路市観光戦略推進会議

資 料

【協議事項 (2) 関係】

資料1

令和3年度姫路市観光戦略推進会議について …… P 1

【協議事項 (3) 関係】

資料2

姫路市の観光を取り巻く情勢と動向 …… P 2

【協議事項 (4) 関係】

資料3-1

姫路市観光戦略プランの改定について …… P 28

資料3-2

姫路市観光戦略プラン [現行] 基本政策等 …… P 29

資料3-3

姫路市観光戦略プラン数値目標推移 …… P 30

資料3-4

姫路市総合計画 観光・スポーツ分野 政策・施策・事業一覧 …… P 31

資料3-5

観光スポーツ局に関する主要イベント等について
(2020年度～2026年度) …… P 33

【協議事項 (5) 関係】

資料4

「観光客受入体制の充実」について …… P 34

【行儀事項 (6) 関係】

資料5

「MICEの推進」について …… P 36

令和3年度姫路市観光戦略推進会議について

1 趣 旨

姫路市の観光施策の指針としての役割を担っている「姫路市観光戦略プラン」が、令和3年度をもって満了する。令和4年度から5年間にわたる姫路市の観光戦略の策定にあたり、観光について優れた見識を有する委員から、幅広い意見や提案を聴取することを目的とした任意懇話会。

2 委 員

「姫路市観光戦略推進会議 委員」のとおり

3 会議スケジュール

- (1) 第1回会議（令和3年8月6日）
 - ア 委員紹介及び座長の選任
 - イ 姫路市観光戦略推進会議について
 - ウ 姫路市の観光の現状について
 - エ 姫路市観光戦略プランの改定について
 - オ 意見交換〔テーマ案：観光客受入体制の充実、MICEの推進〕

- (2) 第2回会議（令和3年10月）
 - ア 姫路市の観光の現状（アンケート等）について
 - イ 意見交換〔テーマ案：滞在型観光の推進、インバウンド観光の推進〕
 - ウ （仮）姫路市観光戦略プラン骨子・素案について

- (3) 第3回会議（令和3年11月）
 - ア 意見交換〔テーマ案：これからの観光の取り組みについて〕
 - イ 姫路市観光戦略プラン案の市民意見（パブコメ）の募集について
 - ウ 姫路市観光戦略プラン（案）について

- (4) 第4回会議（令和4年2月）
 - ア 姫路市観光戦略プラン案の市民意見（パブコメ）の募集結果について
 - イ 姫路市観光戦略プラン（案）について

姫路市の観光を取り巻く情勢と動向

- I 観光を取り巻く情勢
 - 1 国の戦略
 - 2 兵庫県の戦略
 - 3 関西広域連合の戦略

- II 観光動向
 - 1 全国の観光動向
 - (1) 訪日外国人観光（インバウンド）の現状
 - (2) 日本人観光の現状
 - 2 兵庫県の観光動向
 - (1) 観光客数と観光消費額等
 - (2) 兵庫の訪日外国人旅行者
 - 3 姫路市の観光動向
 - (1) 総入込客数
 - (2) ゾーン別観光施設入込客数
 - (3) 市内観光施設別入込客数
 - (4) 月別入込客数
 - (5) 外国人観光客数

- III 姫路市の観光を取り巻く社会潮流

I 観光を取り巻く情勢

1 国の戦略

■ 観光立国推進基本計画（平成 29 年 3 月）

国は、2003 年（平成 15 年）の「ビジット・ジャパン事業」開始以降、2006 年（平成 18 年）に観光立国推進基本法を制定し、これに基づき、2017 年（平成 29 年）に観光立国推進基本計画が閣議決定されました。観光は、成長戦略の柱、地方創生の切り札として観光立国の実現に関し、国が総合的かつ計画的に講ずべき施策として以下を掲げています。

なお、計画期間は、平成 29 年度～平成 32 年度ですが、コロナ禍の影響で改定を先送りしています。

【施策】

1. 国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成

国内外から選考される魅力ある観光地域づくり／東北の観光振興／文化財を中核とした観光拠点の整備／魅力ある公的施設の公開・開放等／古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり／国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化／滞在型農山漁村の確立・形成／良好な景観に関する観光資源の保護、育成及び開発／離島地域等における観光振興／国際拠点空港等の整備等／クルーズ船受入れの更なる拡充／「地方創生回廊」の完備

2. 観光産業の国際競争力の強化及び観光の進行に寄与する人材の育成

地域独自の魅力を生かした旅行商品の創出／民泊サービスへの対応／「観光地再生・活性化ファンド」の継続的な展開／観光の振興に寄与する人材の育成・宿泊業の生産性向上

3. 国際観光の振興

オールジャパンによる訪日プロモーションの実施／ビザ発給に係る要件の緩和／最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現／通訳ガイドの質・量の充実・ランドオペレーターの登録制度の導入／通信環境の整備促進

4. 観光旅行の促進のための環境の整備

訪日外国人旅行者等の災害被害軽減

■ 明日の日本を支える観光ビジョン（平成 28 年 3 月）

上記の観光立国推進基本計画とも連携し、平成 28 年 3 月に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、5つの目標を掲げ、観光先進国の実現を目指しています。

「明日の日本を支える観光ビジョン」の5つの目標

訪日外国人旅行者数	2020年： <u>4,000万人</u> (2015年の約2倍)	2030年： <u>6,000万人</u> (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	2020年： <u>8兆円</u> (2015年の2倍超)	2030年： <u>15兆円</u> (2015年の4倍超)
地方部での外国人延宿泊者数	2020年： <u>7,000万人泊</u> (2015年の3倍弱)	2030年： <u>1億3,000万人泊</u> (2015年の5倍超)
外国人リピーター数	2020年： <u>2,400万人</u> (2015年の約2倍)	2030年： <u>3,600万人</u> (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	2020年： <u>21兆円</u> (最近5年間の平均から約5%増)	2030年： <u>22兆円</u> (最近5年間の平均から約10%増)

出典：観光庁資料を基に作成

■ 観光ビジョン実現プログラム

さらに政府は、観光立国実現に向けての今後1年を目途とした行動計画として、「観光ビジョン実現プログラム」を観光立国推進閣僚会議（主宰：内閣総理大臣）において決定し、施策の展開を図っています。

以下は、令和2年7月に策定された観光ビジョン実現プログラム2020の概要です。

I. 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響が生じている。
- ・このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図る。
- ・その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図る。

1. 雇用の維持と事業の継続に対する支援

- ・持続化給付金や家賃支援給付金の給付
 - ・実質無利子・無担保融資の制度拡充
 - ・雇用調整助成金の制度拡充
 - ・公租公課やNHK受信料等の猶予・減免
- 等

2. 反転攻勢に転じるための基盤の整備



宿泊施設の高付加価値化
・生産性向上等



誘客多角化のための
魅力的な滞在コンテンツ造成

- ・安全・安心に旅行できるよう、観光関連事業者に自ら作成した感染拡大予防ガイドラインの実施徹底を促す
- 等

3. 国内旅行の需要喚起

- ・「Go To トラベル事業」の実施による
 - ・宿泊・日帰り旅行商品の割引
 - ・地場の土産物店、飲食店、観光施設、交通機関等で幅広く使用できる地域共通クーポンの発行
 - ・新たな生活様式に沿った「新しい旅行スタイル」の普及
 - ・休暇取得の分散化、滞在型旅行の促進
 - ・国立公園等におけるワーケーションの推進
- 等

4. インバウンドの回復



日本政府観光局における
航空会社等との共同広告



日本政府観光局による
海外プロモーションの推進

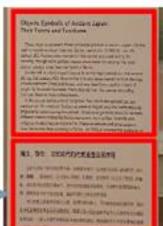
II. インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策

- ・国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。

外国人が楽しめる当たり前の受入環境整備



英語・中国語を含む多言語解説の整備



無料Wi-Fiの環境整備

地域の自然、気候、文化の魅力を生かした 体験型アクティビティの充実



外国人のニーズに合った
商品の開発・販路拡大



アドベンチャーツーリズムの推進

宿泊施設等の再生・活性化



政府系機関の投融資等による
宿泊施設の再生・活性化

世界水準のスノーリゾート整備



国際競争力の高い
スノーリゾートの形成

日本政府観光局の発信力強化



国立公園の大規模キャンペーン等

富裕層が満足できるコンテンツづくり



地域の伝統文化の体験等

※新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、弾力的に取組を進めていく 3

2 兵庫県の戦略

■ 兵庫 2030 年の展望

兵庫県では、本格的な人口減少や少子高齢化など、兵庫を取り巻く環境が大きく変化する中、兵庫の将来を確かなものとし、進むべき道を県民と広く共有するため、2030年のめざす姿や新たな兵庫づくりの基本方針等を「兵庫 2030 年の展望」として 2018 年（平成 30 年）10 月に取りまとめています。

ここでは、兵庫の 2030 年の姿のひとつとして「交流五国」を掲げ、世界の海外旅行者が大きく増加する中、2030 年の訪日外国人旅行者の目標について、国の 6,000 万人に対し、兵庫県では 600 万人と設定しています。また、定住人口 26 万人の減少を想定し、その消費額をカバーする交流人口として、観光入込客が 4,800 万人増加する姿を描いています。

■ ひょうごツーリズム戦略（2020～2022 年度）

この「兵庫 2030 年の展望」に掲げる「交流五国・ツーリズム人口が拡大する兵庫」を実現するために、兵庫へのさらなる誘客を推進するための戦略として、「ひょうごツーリズム戦略（2020～2022 年度）」を 2020 年（令和 2 年）2 月に策定しています。

ひょうごツーリズム戦略（2020～2022 年度）の重点施策

重点施策		施策とその方向
I 観光地の魅力向上	1 観光地魅力コンテンツの創出・発信	(1)兵庫を彩る魅力あるコンテンツの開発 (2)滞在型観光プログラムの開発 (3)交流とにぎわいの空間づくり
	2 観光客受入基盤の整備	(1)観光地を支える快適な環境整備 (2)観光地・観光産業を支える人材の確保・育成 (3)安全安心を届ける受入基盤整備
II 受入環境の整備促進	3 観光地アクセスの整備	(1)観光地・交通事業者と連携した 2 次交通対策の推進 (2)将来を見据えた交通アクセスの整備 (3)観光地アクセス拠点の整備
III 観光産業の振興	4 観光ビジネスの創出・育成	(1)観光ビジネスのイノベーションの創出 (2)事業者とともに取り組むニューツーリズムの創出 (3)食・特産品・農畜水産物の消費拡大
IV プロモーションの強化	5 重点市場への戦略・継続的なプロモーション	(1)認知度の向上とブランド化の推進 (2)旅行商品化・ツアー造成の促進 (3)魅力ある旅ナカ情報の提供 (4)リピーターにつなげる旅アトのフォロー
	6 広域ゲートウェイへのアプローチ	(1)国際線就航空港・港湾からの誘客促進 (2)広域連携による周遊ルートの形成 (3)国内他地域との相互誘客の推進

数値目標

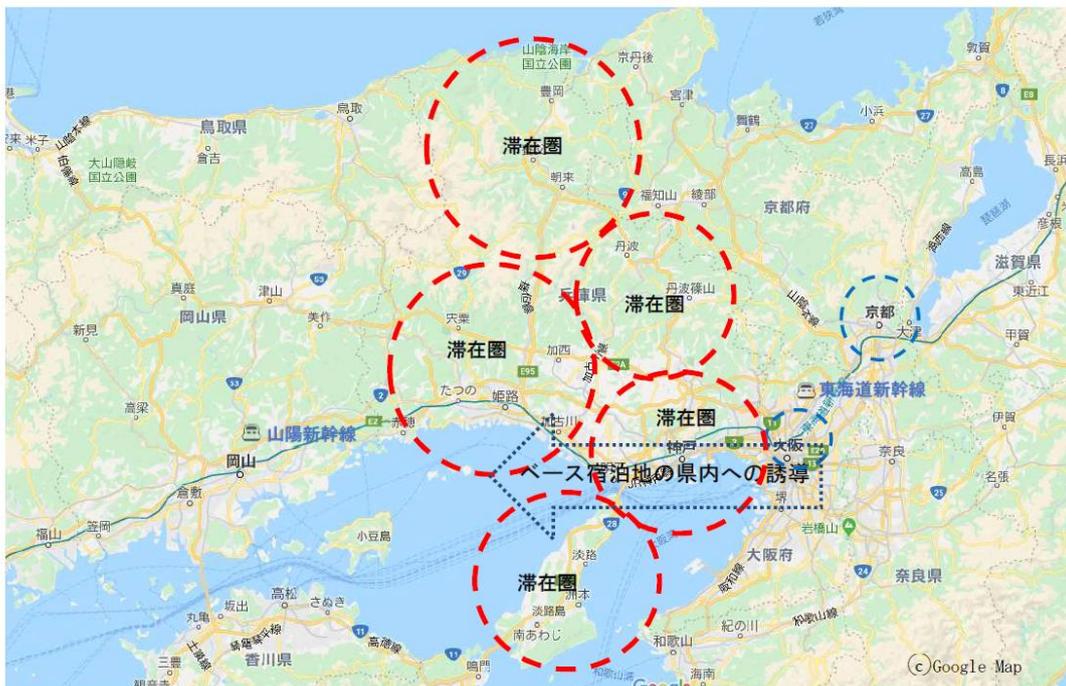
項目	現状値 (2018 年度)	2022 年度 目標値	2025 年度 目標値
1 観光客入込客数	1 億 3,701 万人	1 億 5,300 万人	1 億 6,500 万人
2 外国人旅行者数	187.2 万人	300 万人	400 万人
3 県内延べ宿泊者数 (うち外国人)	1,339 万人 (126 万人)	1,550 万人 (210 万人)	1,700 万人 (280 万人)
4 観光消費額	1 兆 2,859 億円	1 兆 5,200 億円	1 兆 6,700 億円
5 来訪者満足度	69.1%	75%	80%
6 リピーター率(再訪意向率)	50.0%	55%	60%

特に重点施策の中で「1 観光地魅力コンテンツの創出・発信」では以下の記載があります。

1 観光地魅力コンテンツの創出・発信

- ・ 県内に複数の滞在観光圏を形成。
- ・ 関西を周遊する訪日客のベース宿泊地を大阪・京都から県内へ誘導
- ・ 付加価値の高い着地型コンテンツの開発と周遊ルートの旅行商品化

■滞在型観光圏の形成イメージ



[主な施策]

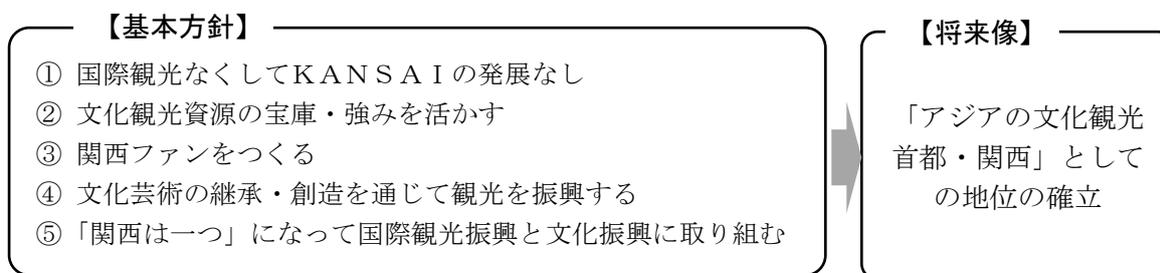
- 兵庫を彩る魅力あるコンテンツの開発
 - ・ 兵庫を彩る着地型コンテンツの開発（歴史・伝統・文化（祭り・芸能等）、自然・景観（兵庫ならではの暮らし体験（古民家宿泊・農伯、里の料理）、農園体験、森林浴等）、スポーツ・アクティビティ（六甲山・サイクリング等）、食・温泉等）
 - ・ 地域の個性を活かした着地型コンテンツの開発
- 滞在型観光プログラムの開発
- 交流とにぎわいの空間づくり

3 関西広域連合の戦略

■ 関西観光・文化振興計画

関西広域連合では、2012年（平成24年）3月に「関西観光・文化振興計画」を策定（2018年3月に計画の見直しを実施）し、府県の枠組みを越え、関西を一つとして捉える観光・文化振興の戦略的な取組方向を示すとともに、計画に沿って取組の実現を進めています。

関西観光・文化振興計画における基本方針と将来像



■ 新・関西観光・文化振興計画（仮称）

なお、「関西観光・文化振興計画」は、2022年3月をもって計画期間（10箇年）の満了を迎えることから、現在、令和4年度～8年度を計画期間とする「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」の策定に取り組んでいます。以下はその要点です。

【ありたい姿（5つの方向性）案】

（※令和2年度第3回（令和3年3月24日開催）策定委員会資料より）

1 持続可能な質の高い観光の実現

関西を多くの観光客が訪れ、各地域の賑わいを創出するとともに、観光客、地域住民、観光事業者の三者が安心できる持続可能な質の高い観光を実現している。

2 関西の強みを活かした文化・観光の推進

世界中の観光客が、有形・無形の文化遺産をはじめ、暮らしに息づく伝統文化や生活文化など、奥深い関西文化の魅力を手感・体験し、各地域で新たな交流が生まれている。この素晴らしい関西の魅力を後世に伝えていくための環境づくりが進んでいる。

3 大阪・関西万博を契機とした広域周遊・滞在圏の形成

着地型観光の推進や新しい旅のスタイルの普及、ユニバーサルツーリズムなど関西から新しい旅の価値を創造し、関西の広域周遊力・長期滞在力を高めることで、万博開催後も多くの観光客を魅了する広域周遊・滞在圏を形成している。

4 関西移転の文化庁との連携による国際的な文化創造圏の形成

新たな文化創造を世界に発信するとともに、関西広域連合の構成府県市、経済界、民間団体、文化施設、大学等との連携のもとで、あらゆる分野に文化の力が活かされている。

5 磨き上げられた地域の文化を基盤にした関西各地の活性化

誰もが地域の文化に愛着を持ち、日頃から文化に親しんでおり、地域の絆によって、地域文化が保存・継承される仕組みのもと、特徴ある地域の産業が生まれるなど、文化を基盤として地域が活性化し、インクルーシブな社会を形成している

II 観光動向

1 全国の観光動向

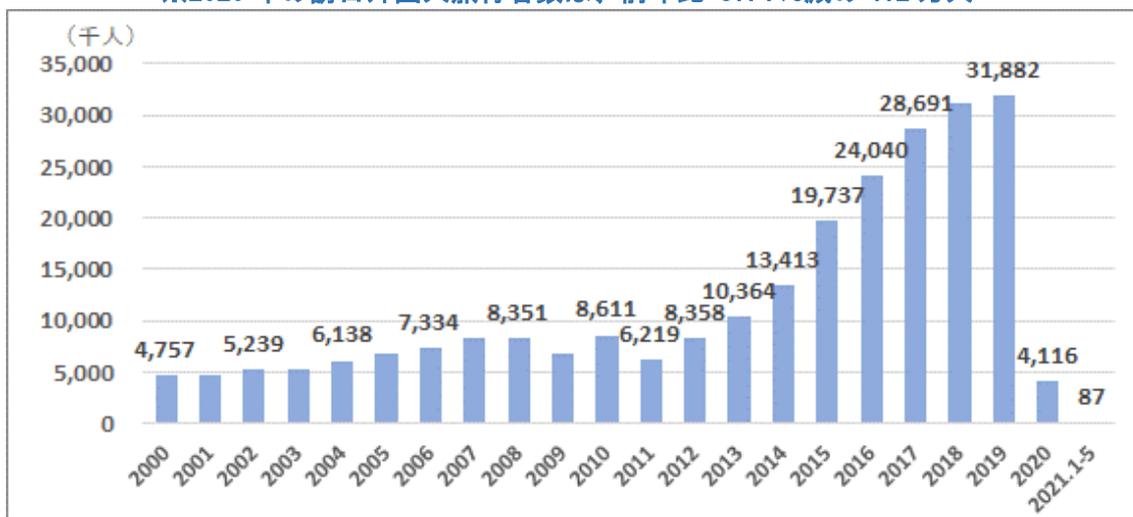
(1) 訪日外国人観光（インバウンド）の現状

① 訪日外国人旅行者数の推移

2019年の訪日外国人旅行者数は、3,188万人と、東日本大震災のあった2011年以降8年連続で過去最高を更新したが、2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い各国・地域において水際対策等が強化された影響等により大きく減少し、前年比87.1%減の412万人となりました。

訪日外客数の推移

※2020年の訪日外国人旅行者数は、前年比87.1%減の412万人



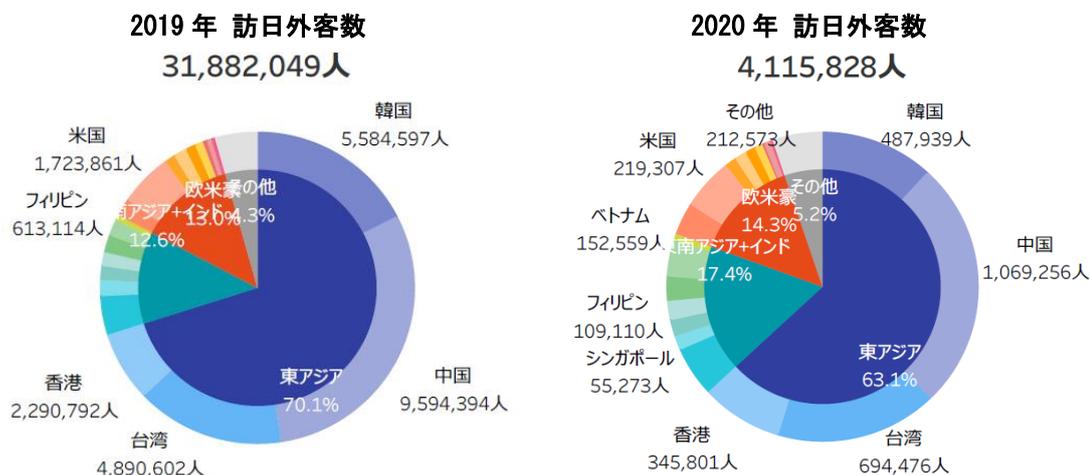
出典：「日本政府観光局（JNTO）」

② 各国・地域別訪日外国人旅行者数

2020年の国・地域別外国人旅行者をみると、中国が107万人と最も多く、台湾（69万人）、韓国（49万人）と続き、東アジアからが全体の63%を占めています。

各国・地域別訪日外客数

※2020年の訪日外国人旅行者の63%が東アジアから



出典：「日本政府観光局（JNTO）」

東南アジア及びインドは、72万人（17%）で、このうちタイが22万人、ベトナムが15万人となっています。

欧米豪からの訪日外国人旅行者数は59万人となり、このうち米国は22万人、豪州が14万人となっています。

なお、前年の2019年と比べ、東アジアで88.4%の減少、欧米豪で85.8%の減少、東南アジア及びインドで82.1%の減少となっています。

各国・地域別訪日外客数

国・地域	2019年		2020年		
	訪日者数(人)	シェア	訪日者数(人)	シェア	前年比
東アジア計	22,360,385	70.1%	2,597,472	63.1%	-88.4%
中国	9,594,394	30.1%	1,069,256	26.0%	-88.9%
香港	2,290,792	7.2%	345,801	8.4%	-84.9%
韓国	5,584,597	17.5%	487,939	11.9%	-91.3%
台湾	4,890,602	15.3%	694,476	16.9%	-85.8%
欧米豪計	4,131,105	13.0%	587,783	14.3%	-85.8%
豪州	621,771	2.0%	143,508	3.5%	-76.9%
カナダ	375,262	1.2%	53,365	1.3%	-85.8%
フランス	336,333	1.1%	43,102	1.0%	-87.2%
ドイツ	236,544	0.7%	29,785	0.7%	-87.4%
イタリア	162,769	0.5%	13,691	0.3%	-91.6%
ロシア	120,043	0.4%	22,260	0.5%	-81.5%
スペイン	130,243	0.4%	11,741	0.3%	-91.0%
英国	424,279	1.3%	51,024	1.2%	-88.0%
米国	1,723,861	5.4%	219,307	5.3%	-87.3%
東南アジア・インド計	4,009,661	12.6%	718,000	17.4%	-82.1%
インド	175,896	0.6%	26,931	0.7%	-84.7%
インドネシア	412,779	1.3%	77,724	1.9%	-81.2%
マレーシア	501,592	1.6%	76,573	1.9%	-84.7%
フィリピン	613,114	1.9%	109,110	2.7%	-82.2%
シンガポール	492,252	1.5%	55,273	1.3%	-88.8%
タイ	1,318,977	4.1%	219,830	5.3%	-83.3%
ベトナム	495,051	1.6%	152,559	3.7%	-69.2%
その他	1,380,898	4.3%	212,573	5.2%	-84.6%
計	31,882,049	100.0%	4,115,828	100.0%	-87.1%

出典：「日本政府観光局（JNTO）」

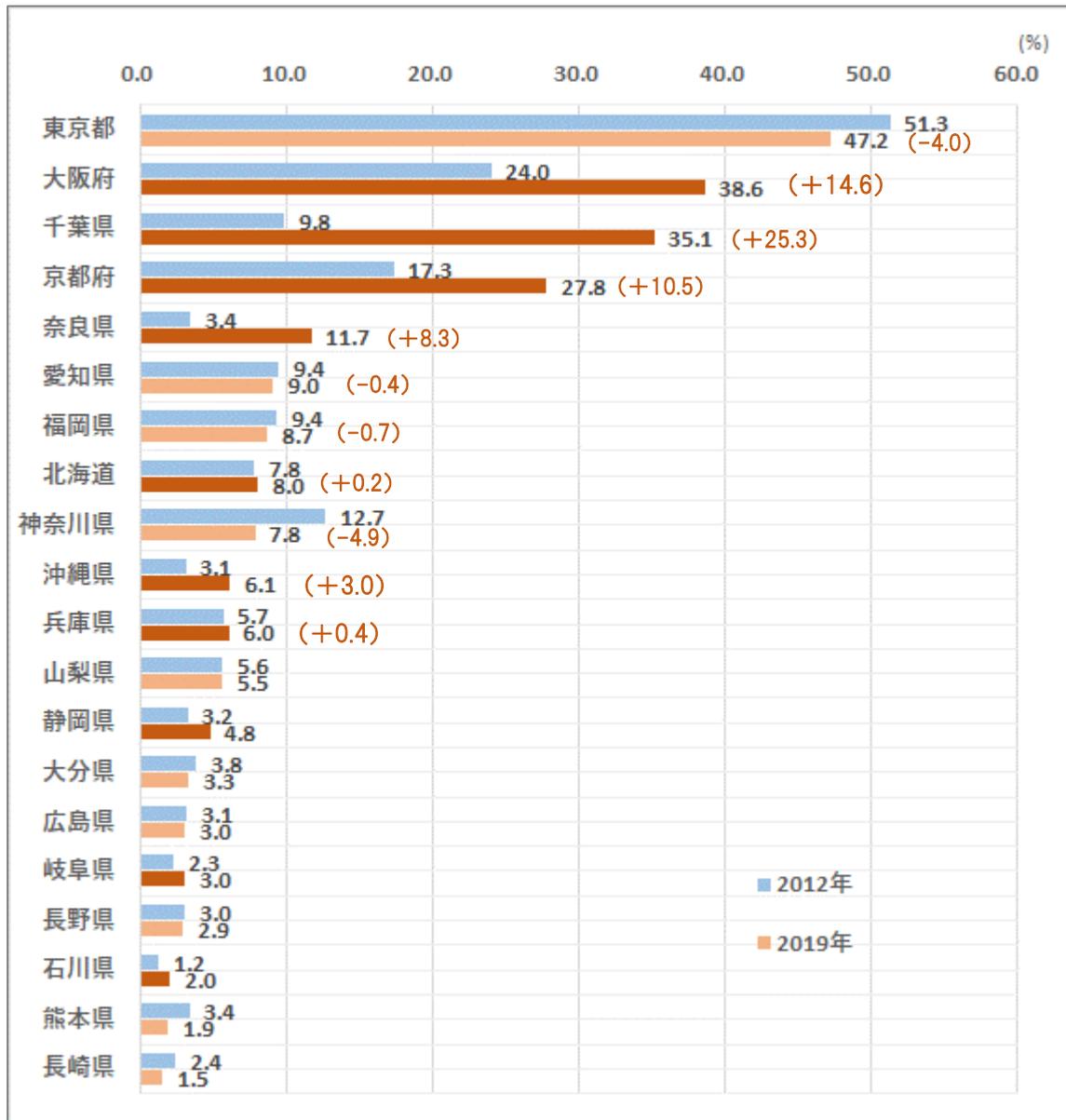
③ 都道府県別訪問率

2019年の訪日外国人旅行者の都道府県別訪問率は、東京都が47.2%と最も高く、次いで大阪府(38.6%)、千葉県(38.6%)、京都府(27.8%)、奈良県(11.7%)の順となっています。

これを2012年と比較すると、大阪府、千葉県、京都府、奈良県の訪問率が大きく上昇している一方、東京都を含め、その他の地域に大きな変化はみられず、旅行者の増加が特定地域に集中している傾向があります。

都道府県別訪問率ランキング上位20(2012年・2019年)

※大阪府、千葉県、京都府、奈良県の訪問率が大きく上昇



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

④ 訪日外国人旅行者の日本国内における消費額

訪日外国人旅行者数の増加とともに消費額も増え続け、2019年には4兆8,135億円と8年連続で対前年比増となりましたが、2020年の日本国内における消費額は、試算によると、7,446億円（試算値）と前年の74.5%もの減少となっています。

なお、2019年の訪日外国人旅行者1人当たりの消費額は、159千円となっています。

訪日外国人旅行者による消費額の推移

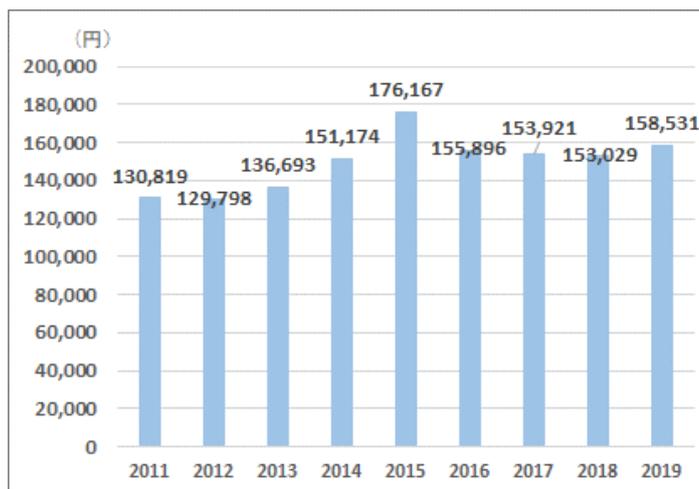
※2019年には4兆8,135億円

年	訪日外国人旅行消費額
2012年 (平成24年)	1兆846億円
2013年 (平成25年)	1兆4,167億円
2014年 (平成26年)	2兆278億円
2015年 (平成27年)	3兆4,771億円
2016年 (平成28年)	3兆7,476億円
2017年 (平成29年)	4兆4,162億円
2018年 (平成30年)	4兆5,189億円
2019年 (令和元年)	4兆8,135億円
2020年 (令和2年)	7,446億円

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

訪日外国人旅行者1人当たりの消費額の推移

※2019年の1人当たりの消費額は、159千円



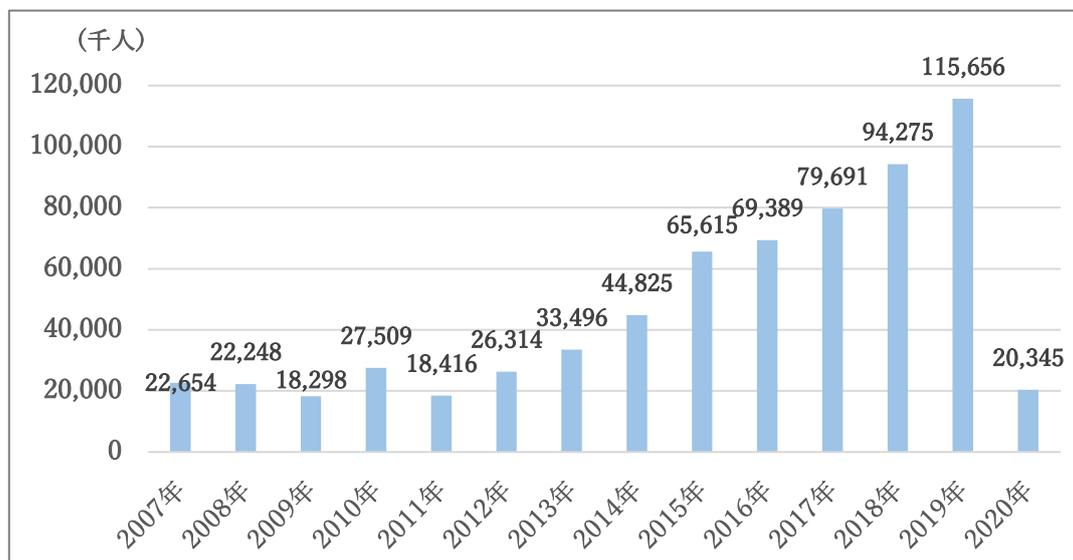
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

⑤ 訪日外国人旅行者延べ宿泊者数

訪日外国人旅行者の宿泊者数も伸び続け、2019年の全国での外国人延宿泊者数は11,566万人泊と、対前年比22.6%増加していましたが、2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、2,035万人と対前年比82.4%の大幅減となっています。

訪日外国人旅行者延べ宿泊者数の推移

※外国人延宿泊者数は2011年以降大幅に伸び続け2019年には11,566万人泊に



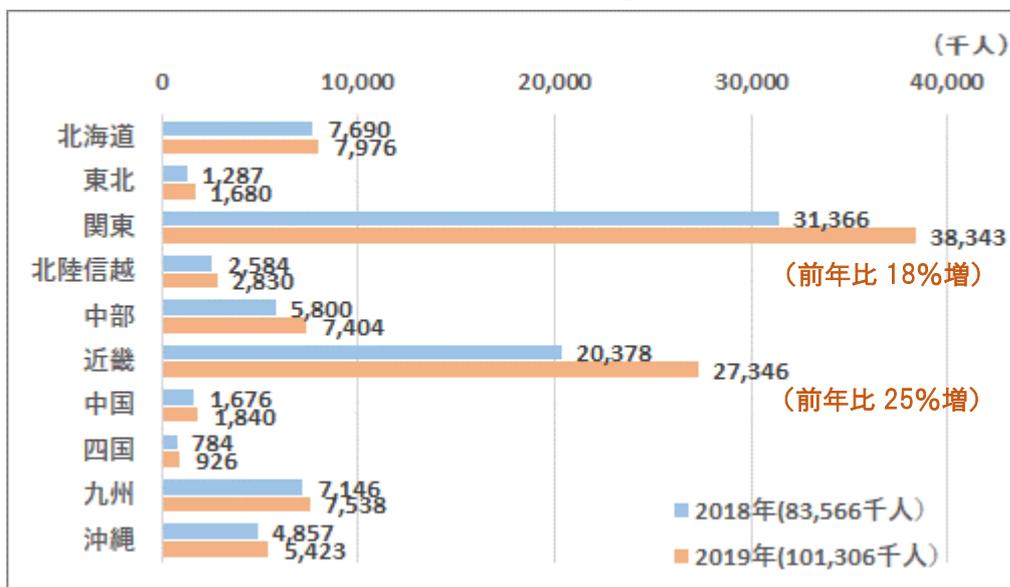
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

なお、2019年の地方ブロック別の外国人延べ宿泊者数は、関東に3,137万人（38%）、近畿に2,735万人（27%）と両地域で全国の65%を占めており、前年比で関東が18%増、近畿が25%増となっています。

地方ブロック別外国人延べ宿泊者数

※2019年の延宿泊者は、関東に3,137万人（38%）、近畿に2,735万人（27%）

※前年比で関東が18%増、近畿が25%増



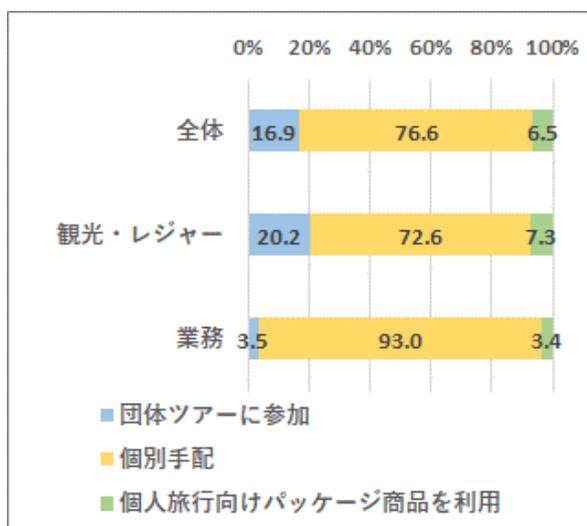
※従業員数10人以上の施設に対する調査から作成
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

⑥ 旅行形態と予約方法

訪日外国人旅行者の旅行形態は、77%が個人での手配であり、団体ツアーへの参加は17%となっています。また、旅行の予約方法は、70%がWebサイトからの申し込みで、26%が店頭での申し込みとなっています。

旅行形態（2019年調査）

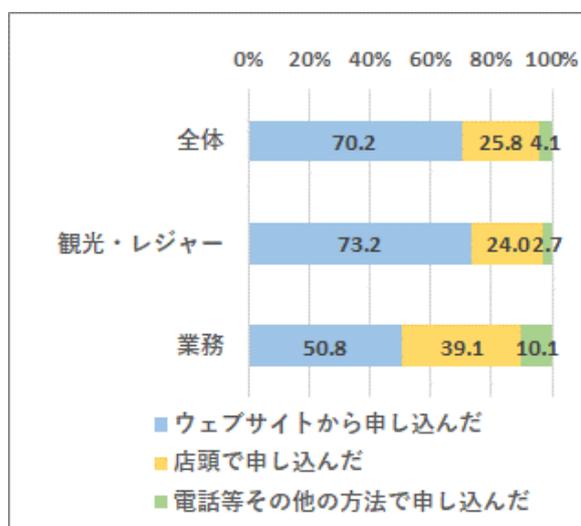
※77%が個別手配



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

予約方法（2019年調査）

※70%がWebサイトからの申し込み



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

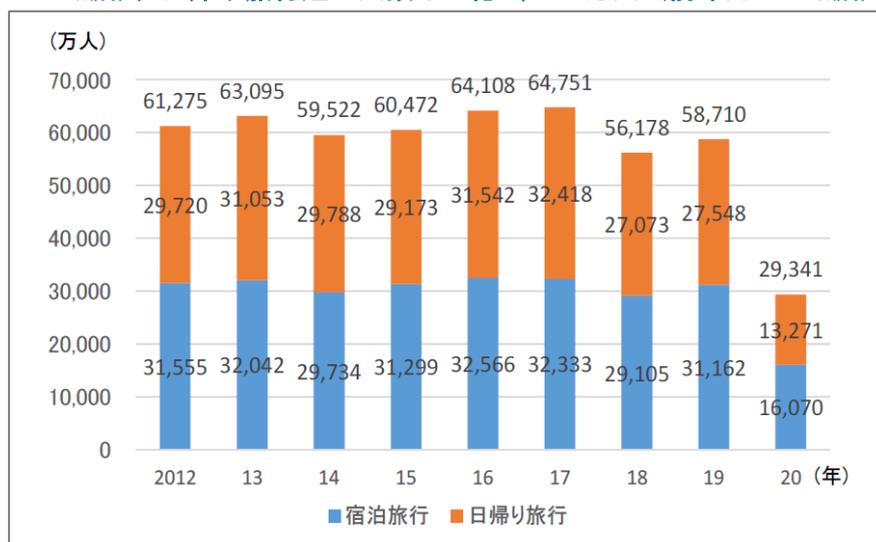
(2) 日本人観光の現状

① 日本人の国内宿泊旅行者数

2020年の日本人の国内宿泊旅行者数は延べ1億6,070万人（前年比48.4%減）、国内日帰り旅行者数は延べ1億3,271万人（前年比51.8%減）と、宿泊旅行、日帰り旅行ともに大きく減少しました。

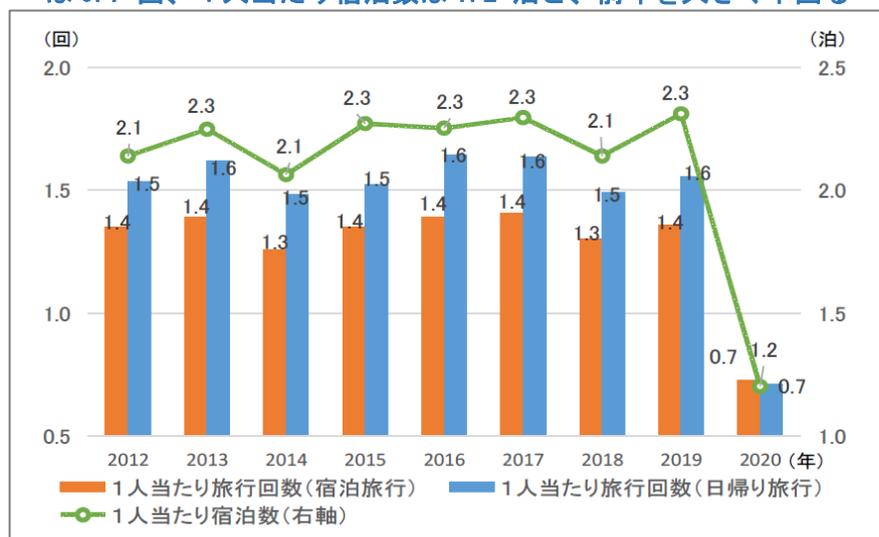
また、日本人1人当たりの国内宿泊旅行の回数は0.7回、日帰り旅行回数は0.7回、1人当たり宿泊数は1.2泊と、前年を大きく下回りました。

日本人国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移
 ※2020年の日本人の国内宿泊旅行延べ人数は1億6,070万人（前年比48.4%減）、日帰り旅行延べ人数は1億3,271万人（前年比51.8%減）



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

日本人1人当たりの宿泊旅行、日帰り旅行の回数及び宿泊数の推移
 ※日本人1人当たりの国内宿泊旅行の回数は0.7回、日帰り旅行回数は0.7回、1人当たり宿泊数は1.2泊と、前年を大きく下回る

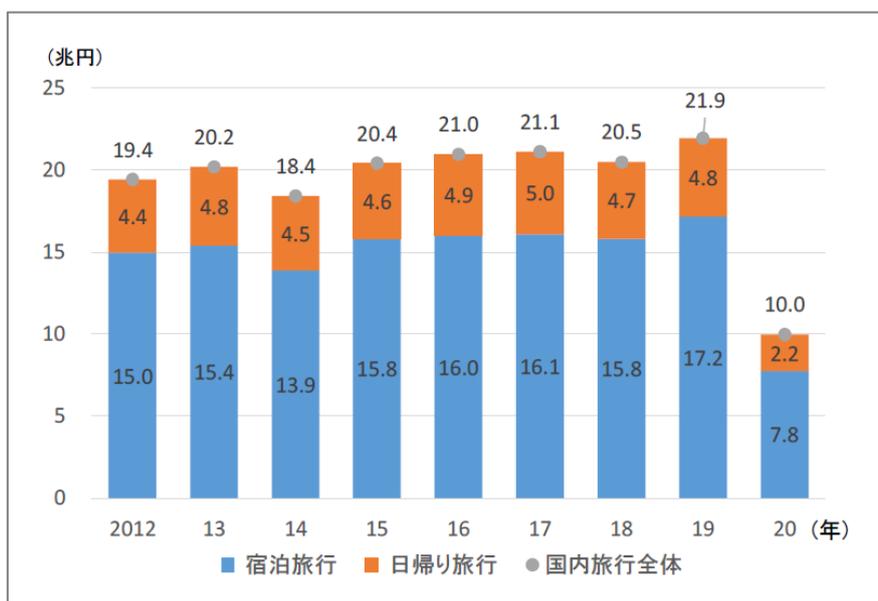


出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

② 国内旅行消費額

2020年の日本人国内旅行消費額は10.0兆円（前年比54.5%減）となり、このうち宿泊旅行の国内旅行消費額は7.8兆円（前年比54.7%減）、日帰り旅行の国内旅行消費額は2.2兆円（前年比53.9%減）となりました。

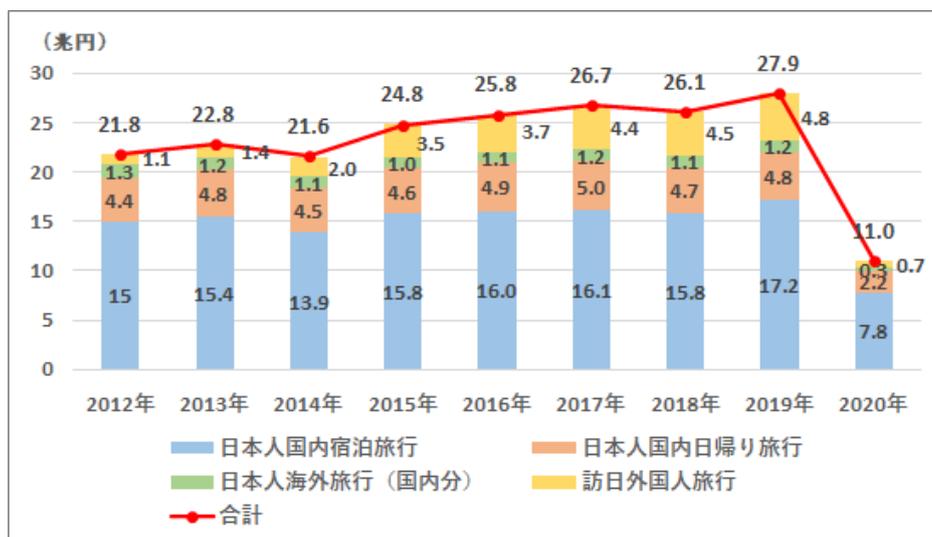
日本人国内旅行消費額の推移
※2020年の日本人国内旅行消費額は、前年比54.5%減の10兆円



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

また、日本人及び訪日外国人旅行者による日本国内における旅行消費額は、11.0兆円前年比60.6%減）となり、このうち日本人による旅行消費額は10.3兆円前年比55.6%減）、訪日外国人旅行者による旅行消費額は0.7兆円前年比85.4%減）となりました。

日本国内における旅行消費額
※2020年の日本国内旅行消費額は、前年比60.6%減の11兆円



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」及び「訪日外国人消費動向調査」

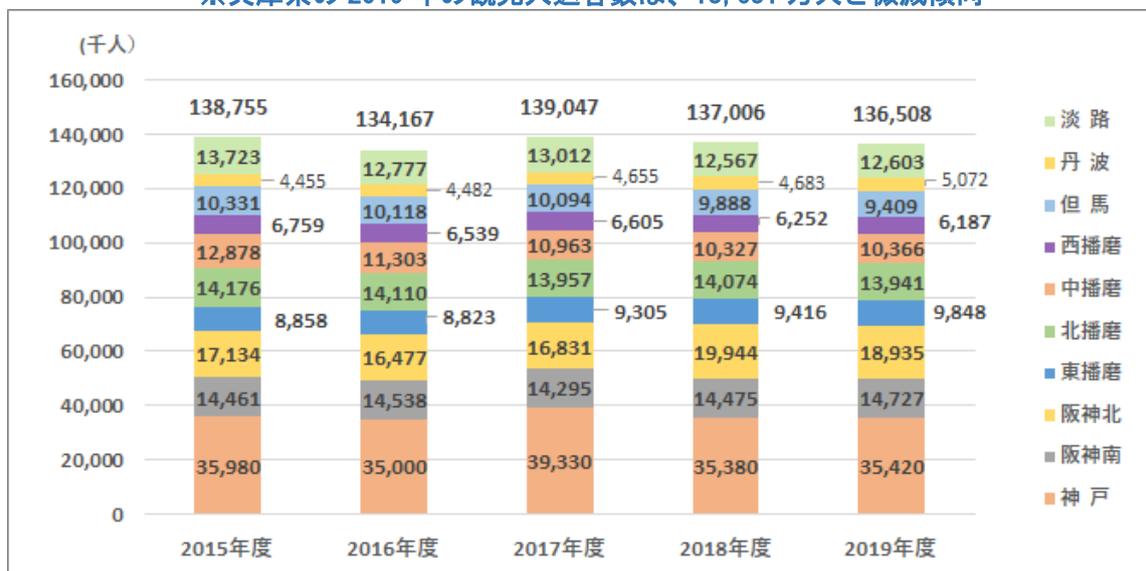
2 兵庫県の観光動向

(1) 観光客数と観光消費額等

① 観光入込客数

2019年度の観光入込客数は、ゴールデンウィークが10日間の大型連休となったことや、ラグビーワールドカップ2019開催による集客があったものの、暖冬によるスキー場の雪不足や、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度を0.3%下回る1億3,651万人となりました。2019年度の観光入込客数を2015年度と比較すると、「丹波地域」が13.8%増と最も高く、次いで「東播磨地域」(11.2%)、「阪神北地域」(10.5%)となっていますが、「中播磨地域」は19.5%のマイナスとなるなど、各地域の入込客数の増減に大きな相違がみられます。

観光入込客数の推移
 ※兵庫県の2019年の観光入込客数は、13,651万人と微減傾向



出典：兵庫県「観光客動態調査報告書」

地域別観光入込客数の推移

(単位：千人)

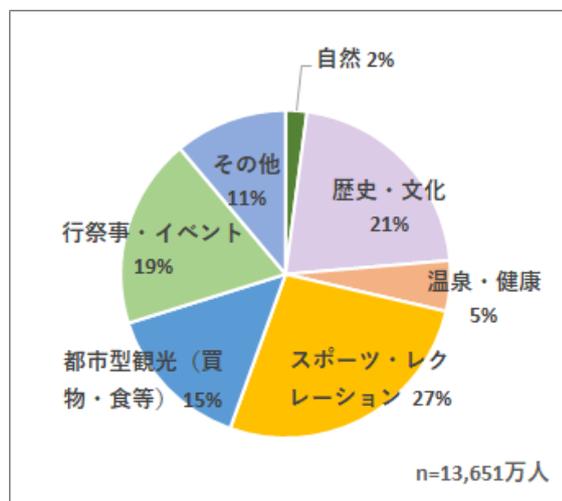
	総計	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
2015年度	138,755	35,980	14,461	17,134	8,858	14,176	12,878	6,759	10,331	4,455	13,723
2016年度	134,167	35,000	14,538	16,477	8,823	14,110	11,303	6,539	10,118	4,482	12,777
2017年度	139,047	39,330	14,295	16,831	9,305	13,957	10,963	6,605	10,094	4,655	13,012
2018年度	137,006	35,380	14,475	19,944	9,416	14,074	10,327	6,252	9,888	4,683	12,567
2019年度	136,508	35,420	14,727	18,935	9,848	13,941	10,366	6,187	9,409	5,072	12,603
増減率 2019/2015年度	-1.6%	-1.6%	1.8%	10.5%	11.2%	-1.7%	-19.5%	-8.5%	-8.9%	13.8%	-8.2%

出典：兵庫県「観光客動態調査報告書」

② 旅行目的

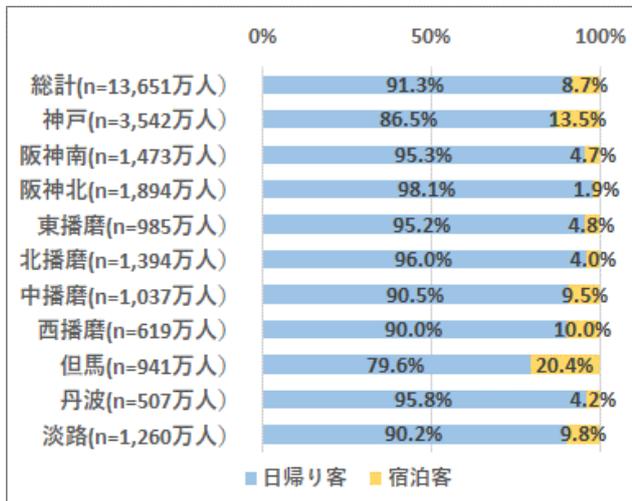
旅行目的別では、「スポーツ・レクリエーション」が27%、「歴史・文化」が21%、「行祭事・イベント」が19%を占め、日帰客が1億2,467万人（全体比91.3%）、宿泊客が1,184万人（同8.7%）となっています。

目的別の入込状況



出典：兵庫県「観光客動態調査報告書」

日帰・宿泊別の入込状況

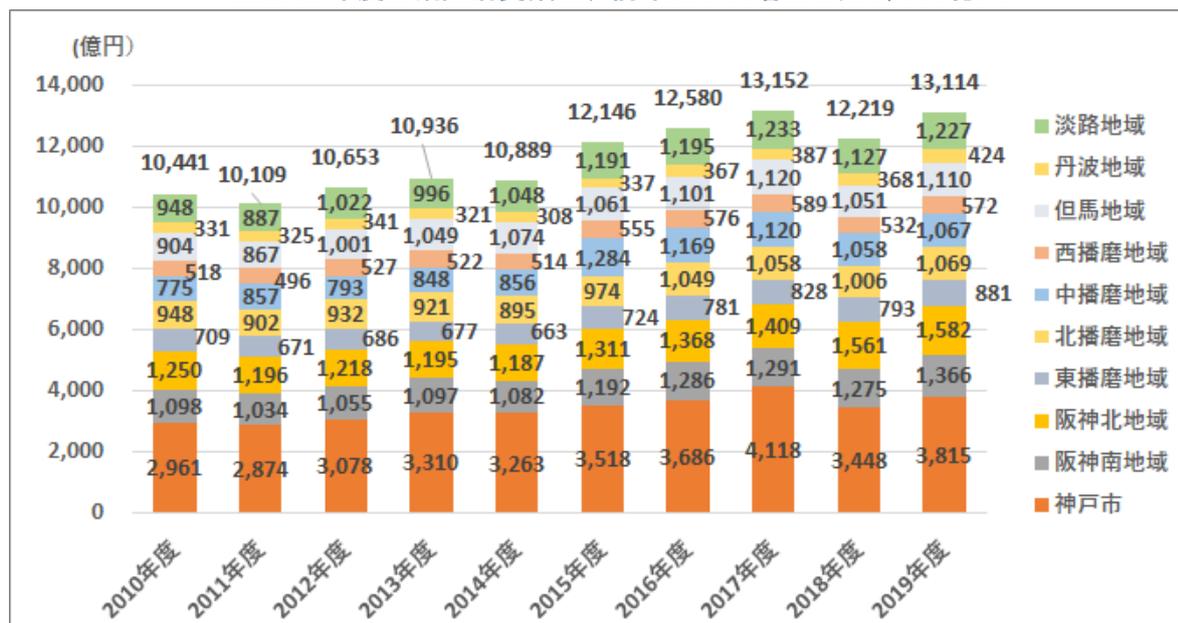


出典：兵庫県「観光客動態調査報告書」

③ 観光消費額

観光客が支出する交通費、宿泊費、土産品費、飲食費、その他の費用の合計額を関連資料に基づき推計した2019年度の県内観光消費額は、1兆3,114億円で対前年度比7%増となっています。

兵庫県内観光消費額の推移
※2019年度の観光消費額は、前年比7%増の1兆3,114億円



出典：兵庫県「兵庫県観光関連産業総生産（観光GDP）」

(2) 兵庫の訪日外国人旅行者

① 外国人観光客数

コロナ禍以前の全国的な訪日外国人観光客の増加に伴って、兵庫県を訪れる外国人も増加し、2019年には191万人に達しています。

兵庫県の外客訪問率と推計外客数
 ※2019年の外客数は191万人と6年前の3倍に



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(参考) 関西府県の外客訪問率と推計外客数

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	増加率 2019/2013年
滋賀県	訪問率 (%)	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	1.00
	推計外客数(人)	72,547	107,308	138,162	144,238	172,146	218,343	223,174	3.08
京都府	訪問率 (%)	18.9	21.9	24.4	27.5	25.9	25.8	27.8	1.47
	推計外客数(人)	1,958,778	2,937,549	4,815,928	6,610,918	7,430,988	8,047,499	8,863,210	4.52
大阪府	訪問率 (%)	25.1	27.9	36.3	39.1	38.7	36.6	38.6	1.54
	推計外客数(人)	2,601,340	3,742,357	7,164,679	9,399,523	11,103,445	11,416,219	12,306,471	4.73
兵庫県	訪問率 (%)	6.2	6.2	6.5	6.2	5.5	6.0	6.0	0.97
	推計外客数(人)	642,562	831,635	1,282,932	1,490,461	1,578,009	1,871,511	1,912,923	2.98
奈良県	訪問率 (%)	4.4	4.9	5.2	6.9	7.3	8.9	11.7	2.66
	推計外客数(人)	456,012	657,260	1,026,345	1,658,739	2,094,448	2,776,075	3,730,200	8.18
和歌山県	訪問率 (%)	1.3	1.5	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	0.85
	推計外客数(人)	134,731	201,202	236,849	288,476	344,293	343,110	350,703	2.60

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

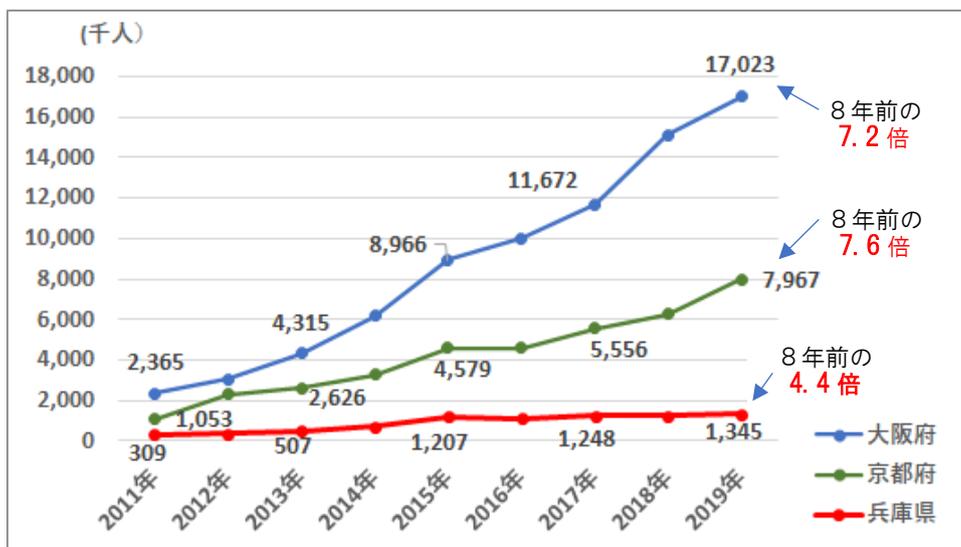
② 訪日外国人旅行者延べ宿泊者数

2019年の外客延べ宿泊者数は8年前の4.4倍の135万人に増加しています。一方、大阪府の7.2倍増、京都府の7.7倍増に比べると低い伸び率となっています。

宿泊者の国・地域をみると、中国、台湾、韓国、香港の東アジア地域で71%を占めています。

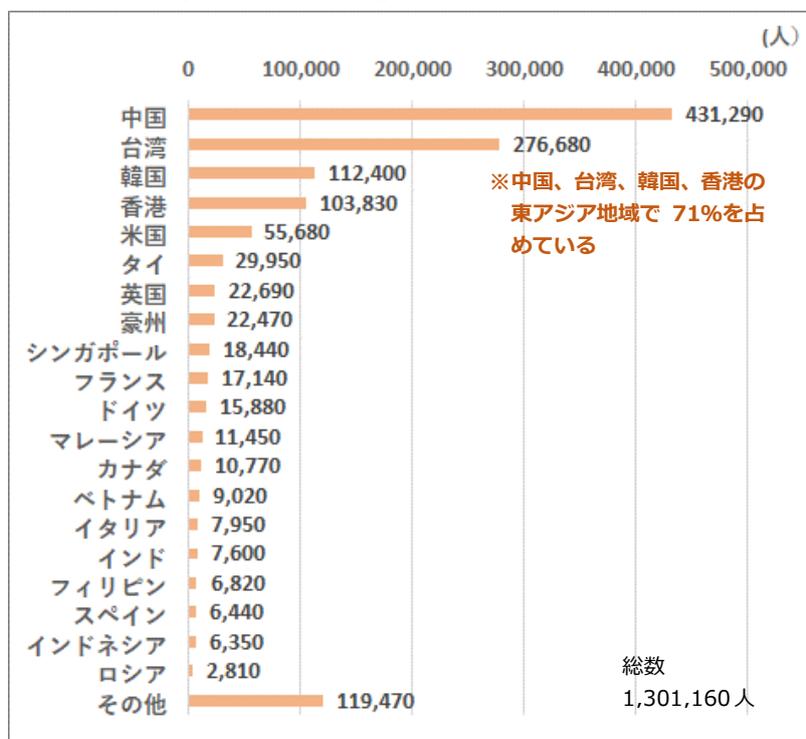
兵庫県の訪日外国人旅行者延べ宿泊者数の推移

※2019年の外客延べ宿泊者数は8年前の4.4倍の135万人に増加しつつも大阪、京都に比べ低い伸び率



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

兵庫県の訪日外国人旅行者の国・地域（2019年）



※従業員数10人以上の施設に対する調査

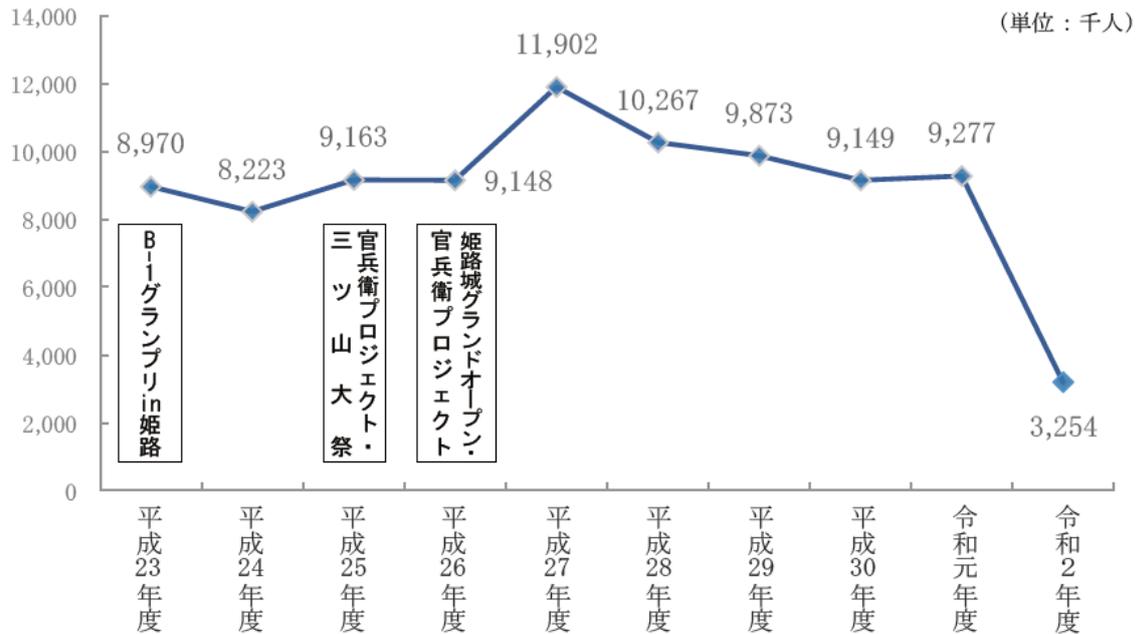
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

3 姫路市の観光動向

(1) 総入込客数

姫路市総入込客数は総延べ数 325 万 4 千人で、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の感染拡大防止のため、緊急事態宣言発出に伴う時短営業や不要不急の外出・移動の自粛等により、令和元年度に比べて 602 万 3 千人減少（前年度比 64.9%減）となった。

令和元年度と比較すると、観光施設入込客数が 61.4%減少、まつり・イベント入込客数が 87.3%減少、スポーツ・自然観賞等入込客数が 51.1%減少している。



総入込客数の内訳

(単位：千人)

区分	総入込客数	観光施設入込客数	まつり・イベント入込客数	スポーツ・自然観賞等入込客数
平成23年度	8,970	3,566	3,037	2,367
平成24年度	8,223	3,614	2,208	2,401
平成25年度	9,163	3,989	2,868	2,306
平成26年度	9,148	4,635	1,827	2,686
平成27年度	11,902	6,646	2,345	2,911
平成28年度	10,267	5,619	1,977	2,671
平成29年度	9,873	5,104	2,068	2,701
平成30年度	9,149	4,661	1,938	2,550
令和元年度	9,277	4,753	2,201	2,323
令和2年度	3,254	1,837	280	1,137

【観光施設】姫路城・動物園・美術館・県立歴史博物館・姫路文学館・好古園・手柄山遊園・水族館・温室植物園・平和資料館
 ・書写山園教寺・書写の里美術工芸館・自然観察の森・県立こどもの館・星の子館・姫路科学館・姫路セントラルパーク
 ・名古屋霊苑(仏舎利塔)・太陽公園・日本玩具博物館・水の館・埋蔵文化財センター
 ※平成25年、26年度はひめじの黒田官兵衛大河ドラマ館を含む
 ※年度終了後の修正等により、過年度の入込客数に変更が生じる場合がある

(2) ゾーン別観光施設入込客数

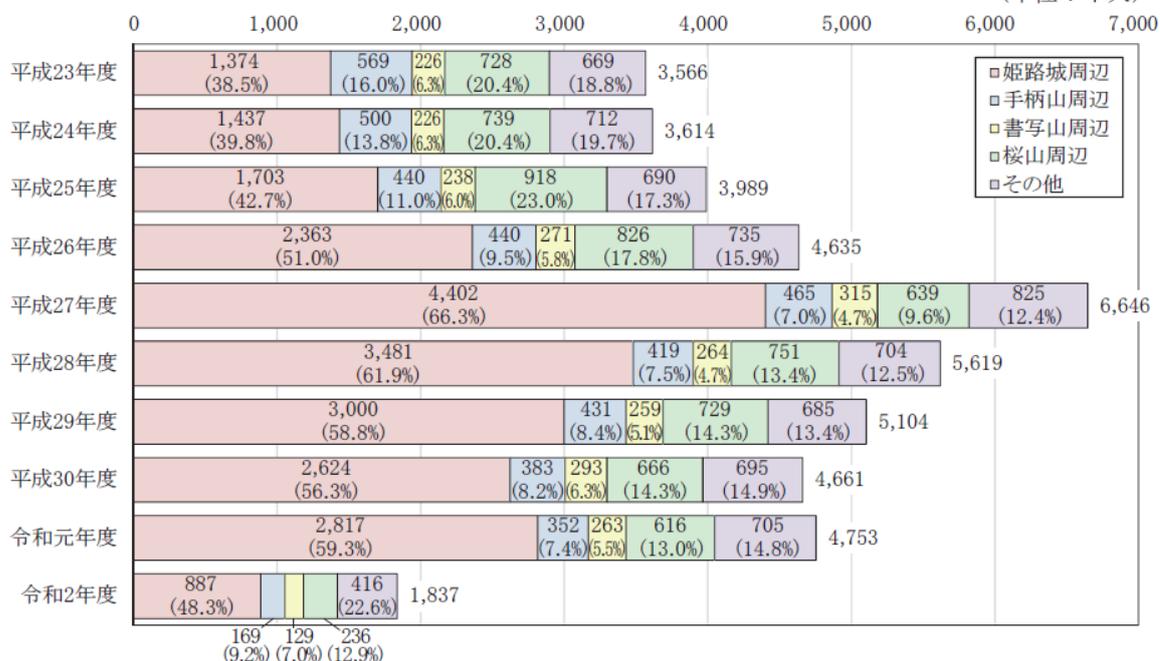
姫路市内の観光施設を「姫路城周辺」、「手柄山周辺」、「書写山周辺」、「桜山周辺」の4つのゾーンと「その他」に分類し、それぞれの入込客数の傾向をみると「姫路城周辺」が全体48.3（88万7千人）を占め、次いで姫路セントラルパーク等が含まれる「その他」22.6%（41万6千人）、県立こどもの館等が含まれる「桜山周辺」が12.9%（23万6千人）、「手柄山周辺」9.2%（16万9千人）、「書写山周辺」が7.0%（12万9千人）となっている。

ゾーン別観光施設入込客数

(単位：千人)

区分	姫路城周辺	手柄山周辺	書写山周辺	桜山周辺	その他	合計
平成23年度	1,374	569	226	728	669	3,566
平成24年度	1,437	500	226	739	712	3,614
平成25年度	1,703	440	238	918	690	3,989
平成26年度	2,363	440	271	826	735	4,635
平成27年度	4,402	465	315	639	825	6,646
平成28年度	3,481	419	264	751	704	5,619
平成29年度	3,000	431	259	729	685	5,104
平成30年度	2,624	383	293	666	695	4,661
令和元年度	2,817	352	263	616	705	4,753
令和2年度	887	169	129	236	416	1,837
R01・R02比較	68.5%減	52.0%減	51.0%減	61.7%減	41.0%減	61.4%減

(単位：千人)



姫路城周辺/姫路城・動物園・美術館・県立歴史博物館・姫路文学館・好古園・大河ドラマ館※

手柄山周辺/手柄山遊園・水族館・温室植物園・平和資料館

書写山/書写山園教寺・書写の里美術工芸館

桜山周辺/自然観察の森・県立こどもの館・星の子館・姫路科学館

その他/姫路セントラルパーク・名古屋霊苑（仏舎利塔）・太陽公園・日本玩具博物館・水の館・埋蔵文化財センター

※ひめじの黒田官兵衛 大河ドラマ館は、平成25、26年度のみ

(3) 市内観光施設別入込客数

市内観光施設の入込客数をみると、姫路城周辺施設では、全体で88万7千人（68.5%減）と減少している。

手柄山周辺では、全体で16万9千人（52.0%減）、書写山周辺では、全体で12万9千人（51.0%減）、桜山周辺では、全体で23万6千人（61.7%減）となっている。

なお、令和2年3月から5月は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の観光施設で休館等を行っている。

市内観光施設別入込客数

(単位：千人)

区分	合計	姫路城周辺							小計
		姫路城	動物園	美術館	歴史博物館	姫路文学館	好古園	大河ドラマ館	
平成23年度	3,566	611	408	71	96	93	95	-	1,374
平成24年度	3,614	711	330	70	77	135	114	-	1,437
平成25年度	3,989	881	333	69	97	75	134	114	1,703
平成26年度	4,635	919	487	79	119	71	198	490	2,363
平成27年度	6,646	2,867	759	119	107	27	523	-	4,402
平成28年度	5,619	2,112	642	99	113	66	449	-	3,481
平成29年度	5,104	1,824	511	87	80	70	428	-	3,000
平成30年度	4,661	1,590	397	21	82	95	439	-	2,624
令和元年度	4,753	1,548	420	236	90	95	428	-	2,817
令和2年度	1,837	390	237	53	35	42	130	-	887
R01・R02比較	61.4%減	74.8%減	43.6%減	77.5%減	61.1%減	55.8%減	69.6%減	-	68.5%減

(単位：千人)

区分	手柄山周辺					書写山周辺		
	手柄山遊園	水族館	温室植物園	平和資料館	小計	書写山圓教寺	書写の里美術工芸館	小計
平成23年度	208	302	36	23	569	186	40	226
平成24年度	219	228	37	16	500	188	38	226
平成25年度	195	199	31	15	440	199	39	238
平成26年度	179	208	38	15	440	232	39	271
平成27年度	191	214	38	22	465	275	40	315
平成28年度	162	202	37	18	419	227	37	264
平成29年度	161	209	38	23	431	217	42	259
平成30年度	140	198	29	16	383	251	42	293
令和元年度	122	185	29	16	352	222	41	263
令和2年度	10	121	27	11	169	112	17	129
R01・R02比較	91.8%減	34.6%減	6.9%減	31.2%減	52.0%減	49.5%減	58.5%減	51.0%減

(単位：千人)

区分	桜山周辺					その他				
	自然観察の森	こどもの館	星の子館	姫路科学館	小計	姫路セントラルパーク	仏舎利塔	太陽公園	日本玩具博物館	小計
平成23年度	22	323	143	240	728	537	11	75	23	669
平成24年度	25	329	153	232	739	560	13	85	24	712
平成25年度	22	354	199	343	918	541	12	92	20	690
平成26年度	25	379	157	265	826	582	12	98	20	735
平成27年度	25	244	149	221	639	648	15	115	22	825
平成28年度	24	367	144	216	751	564	14	86	19	704
平成29年度	22	338	118	251	729	553	14	80	16	685
平成30年度	22	307	90	247	666	546	14	93	18	695
令和元年度	23	236	128	229	616	567	13	87	18	705
令和2年度	40	41	67	88	236	334	4	62	9	416
R01・R02比較	73.9%増	82.6%減	47.7%減	61.6%減	61.7%減	41.1%減	69.2%減	28.7%減	50.0%減	41.0%減

※ 令和2年度の各施設の閉館等の状況はP7参照

※ その他施設の小計には、記載外の施設を含む

(4) 月別入込客数

月別の入込客数として最も多いのは「11月」で51万7千人、最も少ないのが「4月」で4万8千人となった。令和2年度入込客数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、観光施設や飲食店等商業施設の時短営業や休館、不要不急の外出・移動の自粛、イベントの中止等の影響により、入込客数は3月を除いて、全ての月で前年度より減少している。

特に、令和2年4月は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、国内で初めて緊急事態宣言が発出され、多くの観光施設や商業施設が休館し、イベントが中止になったことで、前年度より大幅に減少（95.4%減）している。

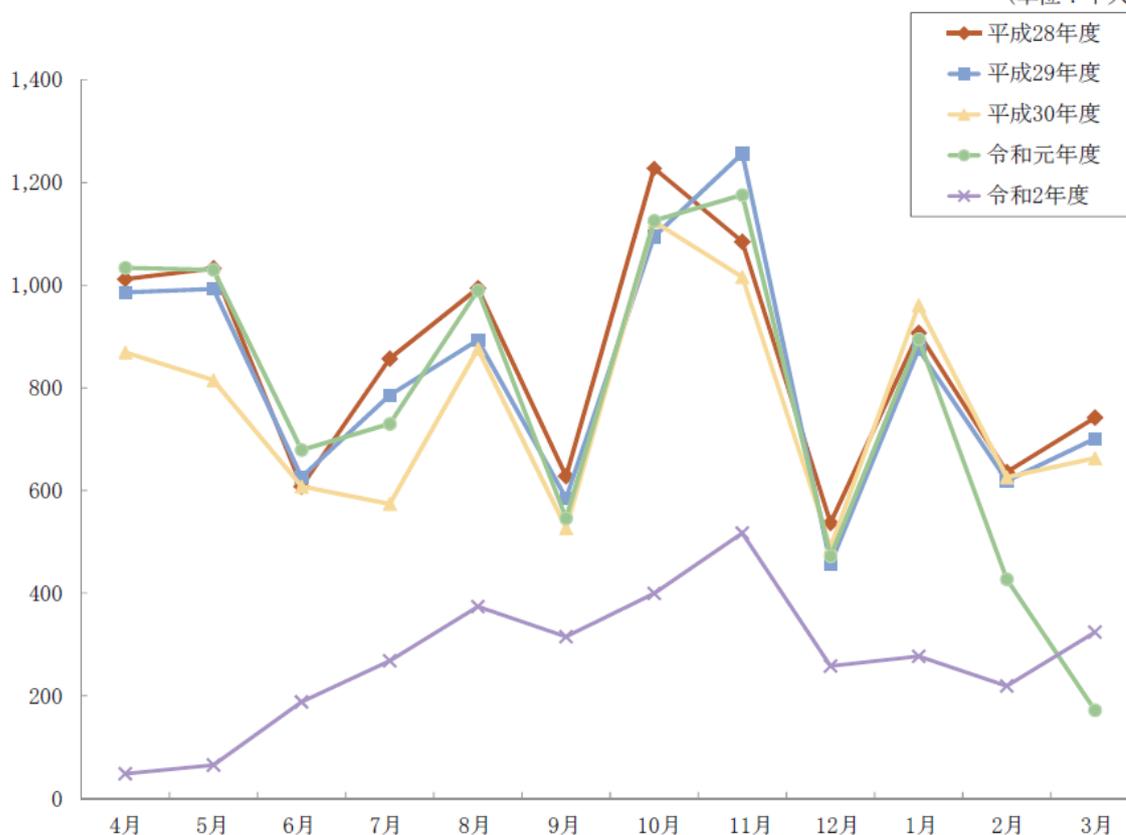
月別入込客数

(単位：千人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	1,012	1,033	608	857	994	628	1,228	1,085	537	907	636	742	10,267
平成29年度	986	993	626	786	893	585	1,095	1,257	457	875	619	701	9,873
平成30年度	869	815	608	574	876	527	1,124	1,016	490	961	626	663	9,149
令和元年度	1,034	1,030	679	730	990	546	1,126	1,176	472	895	427	172	9,277
令和2年度	48	65	188	268	374	315	401	517	258	277	219	324	3,254
R01・R02比較	95.4%減	93.7%減	72.3%減	63.3%減	62.2%減	42.3%減	64.4%減	56.0%減	45.3%減	69.1%減	48.7%減	88.4%増	64.9%減

月別入込客数

(単位：千人)



(5) 外国人観光客数

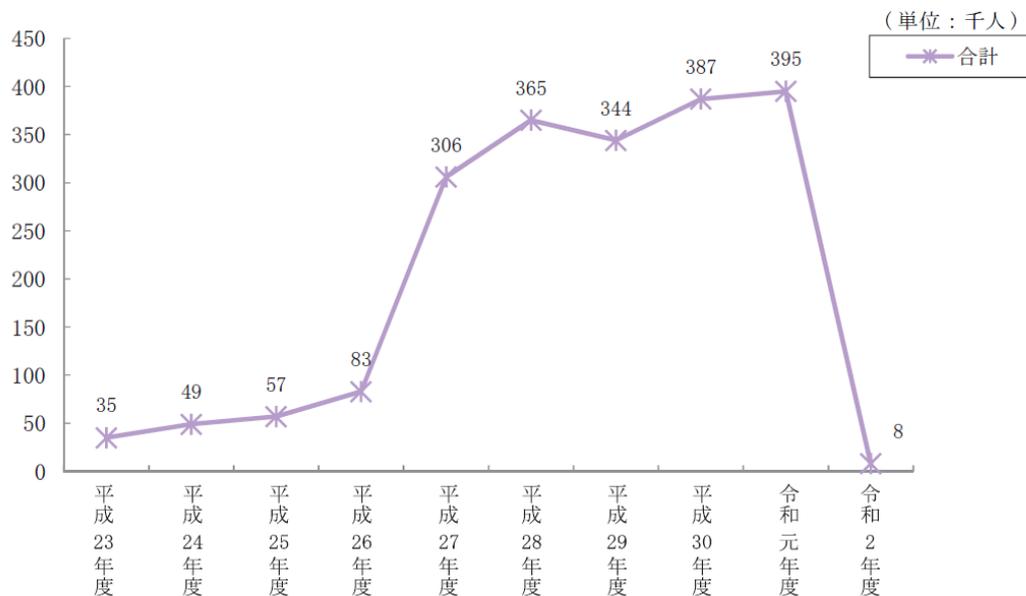
姫路城の外国人観光客数（入城者数）は8千人で、令和元年度と比べ38万7千人（98.0減）減少している。

新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大の影響により、日本における新規入国の一時停止や、検疫の強化等の措置が取られ、旅行ツアーの中止をはじめ、個人旅行の自粛等により、外国人観光客は大幅に減少した。言語別でみると、英語圏、中国語圏、フランス語圏、韓国語圏の順であった。

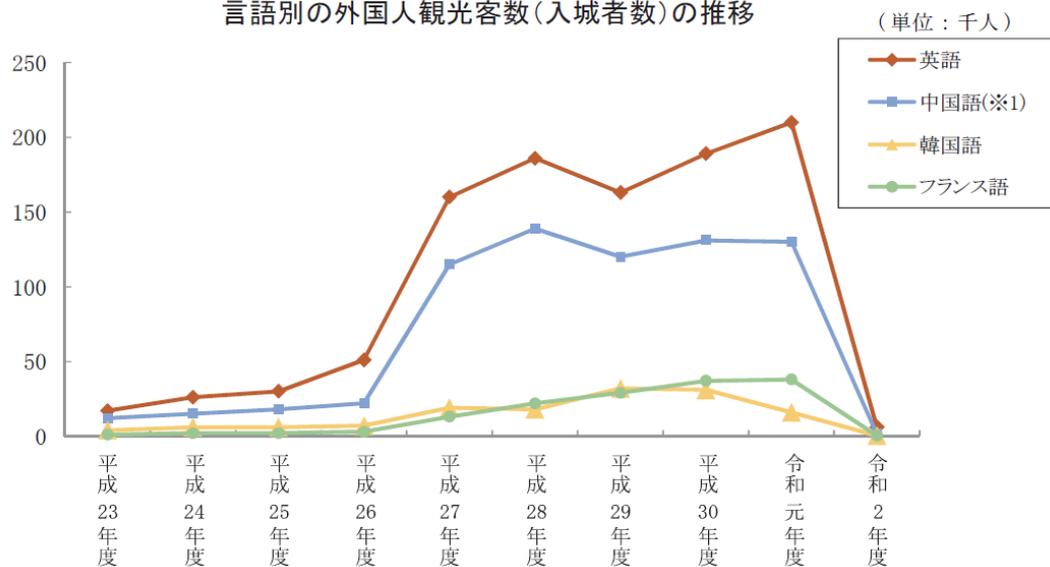
姫路市観光案内所（姫路観光ナビポート）での外国人観光客対応者数は、姫路城と同様に大幅に減少しており、国（地域）別の傾向として、フランス、台湾、中国の順であった。

(ア) 姫路城

姫路城の外国人観光客数(入城者数)の推移



言語別の外国人観光客数(入城者数)の推移



※1 簡体中国語と繁体中国語の合計

※2 言語別の外国人観光客数は、英語、中国語、フランス語、韓国語の順

(イ) 姫路市観光案内所(姫路観光なびポート)

姫路市観光案内所(姫路観光なびポート)での外国人観光客対応数

区分	外国人 対応者数 (人)	外国人対応者数上位10ヶ国(地域)(人)									
		1位		2位		3位		4位		5位	
平成28年度	23,868	台湾	4,419	フランス	1,343	アメリカ	1,179	スペイン	1,174	タイ	1,056
平成29年度	28,489	台湾	4,287	フランス	1,819	アメリカ	1,539	スペイン	1,382	オーストラリア	1,361
平成30年度	27,591	台湾	2,601	フランス	2,334	スペイン	1,711	アメリカ	1,604	オーストラリア	1,486
令和元年度	25,631	台湾	2,352	フランス	2,008	スペイン	1,778	アメリカ	1,696	オーストラリア	1,424
令和2年度	537	フランス	39	台湾	25	中国	24	アメリカ	22	フィリピン	20

区分	外国人対応者数上位10ヶ国(地域)(人)										[参考] 日本人観光客 問い合わせ件数 (件)
	6位		7位		8位		9位		10位		
平成28年度	オーストラリア	1,000	中国	988	韓国	861	香港	692	イタリア	571	47,802
平成29年度	タイ	1,356	中国	1,018	韓国	1,013	香港	823	イタリア	713	51,446
平成30年度	中国	1,246	タイ	1,012	イタリア	998	ドイツ	874	韓国	831	55,699
令和元年度	中国	1,309	イタリア	981	ドイツ	893	タイ	892	イギリス	844	64,249
令和2年度	ドイツ	14	スペイン・ブラジル・インド					各11	ベトナム	10	22,224

Ⅲ 本市の観光を取り巻く社会潮流

本市の観光を取り巻く主な社会情勢の潮流として、①少子高齢化・人口減少社会、②アフターコロナへの対応・ニューノーマル、③SDGs、持続可能な社会への関心の高まり、④デジタルテクノロジーの進展が挙げられ、これらの時代潮流に対応するとともに、⑤2025年大阪・関西万博の開催が控えており、本市の魅力を世界に発信していく絶好の機会となります。

また、⑥旅行スタイルの変化により、発地主導型観光から着地型観光が求められています。

① 少子高齢化・人口減少社会

日本の総人口は、2008年（平成20年）の1億2,800万人をピークに減少を続けており、2053年（令和35年）には1億人を下回ると予測されています。

本市の人口は微増微減を繰り返し、53万人台を維持してきましたが、近年は東京圏や阪神地域への若い世代の流出が増加するとともに、死亡数が出生数を上回る状態が続いており、今後、何の対策も講じなければ、2060年の本市の人口は36万人になると見込まれています。

人口減少と高齢化の進行は、「働き手」の減少から日本全体の経済を縮小させ、一人当たりの国民所得を低下させるおそれがあり、地方においては、担い手の減少だけではなく、消費市場が縮小し、地方の経済が縮小するなど、さまざまな社会的・経済的な課題が生じるとされています。

本市では、「2060年の定住人口 約47万人」を長期的に目指すこととし、目指す2030年の定住人口を51万8千人と定め、その実現に向けて取り組んでいくこととしています。

また、定住人口の減少を補うため、旅行者や短期滞在者といった「交流人口」づくりや姫路にゆかりや関わりのある「関係人口」づくりにも取り組んでいくこととしています。

② アフターコロナへの対応・ニューノーマル

新型コロナウイルスによって、我々を取り巻く経済と暮らしの各領域に大きな影響が及び、人の活動が制限される一方、ニューノーマル（新たな日常）に対応した、社会的な環境の整備、新たな暮らしのスタイルの確立などが求められています。

移動と人の交流を基本とする観光は、移動中や旅先での「安全・安心・衛生等」が重視され、三密を避け、近隣エリアの旅行需要を取り込むマイクロツーリズムや屋外、野外重視型の個人やグループ単位での旅行ニーズが高まるとみられています。

オンライン・バーチャルツアーによる姫路観光の魅力発信や交流をはじめ、これからは観光客が安心して観光を楽しめるよう、地域が一体となって新たな旅行スタイルに対応した着地整備を行っていくことが求められます。

③ SDGs、持続可能な社会への関心の高まり

平成27年（2015年）には、国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択され、世界的にますます「持続可能性」は重要視されるようになりました。日本でも「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」が策定されました。

観光庁では、持続可能な観光地マネジメントを行うための支援ツールとして、国際基準に準拠した持続可能な観光指標「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を開発しています。

このガイドラインでは、観光客に向けた観光地の受入環境整備とあわせて、感染症対策や災害に備えた危機管理、地域の自然環境や文化遺産の保護、観光を地域の経済や社会の発展につなげ地域住民が観光による恩恵を実感できること、先人たちが守ってきた地域の価値を次世代に確実に受け継いでいくことなどが求められています。

また、国際認証の公式認証機関である、オランダの非営利団体により、「世界のサステナブル・ツーリズム100選」が毎年選定され、持続可能な取り組みを実施している地域の証となっています。

④ デジタルテクノロジーの進展

今日、AI、IoT (Internet of Things)、ビッグデータ等のデジタルテクノロジーの社会への浸透が進み、経済・社会のデジタル化が進展しています。今後、超高速・多数接続・超低遅延といった特徴を持つ第5世代移動通信システム(5G)の普及等により、経済・社会のデジタル化が更に急速に進展していくことが見込まれています。

観光分野においては、Web上で予約・決済を完結させるOTA (Online Travel Agency) や、膨大な口コミを閲覧・検索可能な情報サイトなどのネットからの情報収集が一般化しています。

また、観光地経営においては、ビッグデータに基づく市場分析、AIを活用したオーダーメイドの提案・販売促進活動、AR (拡張現実)、VR (仮想現実) を活用したリアルタイム・双方向コミュニケーションによるガイドやナビゲーションなど、一般消費者の細かなニーズに応えたり、観光体験を豊かにする観光DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進が重要となっています。

⑤ 2025年大阪・関西万博の開催

2025年4月13日～10月13日の184日間、「いのち輝く未来社会のデザイン」(Designing Future Society for Our Lives) をテーマに、大阪・関西万博が開催されます。

大阪・関西万博は、150ヵ国及び国際機関25機関の参加を目標とし、約2,820万人の入場者数が想定されており、本市の魅力を世界に発信していく絶好の機会となります。



大阪・関西万博会場イメージ

出典：「2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)基本計画」(2020年12月)

⑥ 旅行スタイルの変化（発地主導型観光から着地型観光へ）

近年の旅行スタイルは、「団体志向から個人・家族志向」「訪問型から滞在型」「受身型から参加・体験型」などに変化してきており、地域固有の暮らしや文化との触れ合いを求める個人旅行者が増加する中で、観光振興のコンセプトも行政や観光関連事業者中心の「旅行振興」から、他産業や住民等も一体となって旅行者を受け入れる「観光地域づくり」へと変化してきています。

従来の観光ビジネスである旅行者の暮らす地域（発地）の観光業者が、大量送客を前提に、割安感を付加価値に観光商品を生設計し、情報発信する「発地型観光」は、インターネットの普及や運輸業界の規制緩和による安価な旅行が可能となり、その付加価値は後退するとともに、観光地で入手あるいは体験できる商品・サービスの質に観光消費の付加価値の源泉が移ってきています。

これは、日本人に限らず、訪日外国人観光客も旅行慣れすると、単に有名な観光地よりも自分のニーズに合った観光地を、見るだけよりも体験を求める傾向があり、旅行者を受け入れる側の地域（着地）側が、その地域でおすすめの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する「着地型観光」が求められます。

観光の形態が、団体旅行から個人旅行へ、周遊型から滞在型に変化しつつある中で、個々の観光客の主体性を尊重して、学びや癒し、遊びなど、それぞれなりの楽しみ方を可能にする新しい観光スタイルの開発が必要となっています。

姫路市観光戦略プランの改定について

1 改定の目的

姫路市の観光施策の指針としての役割を担っている「姫路市観光戦略プラン」が、令和3年度で満了することから、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、デジタルの有効活用、SDGsの国際的な取り組み、アクリエひめじの開館、姫路観光コンベンションビューローの登録DMO化による地域一体となった観光地域づくりなど、本市の観光を取り巻く環境の変化を十分踏まえたプランに改定し、交流人口の増に伴う経済循環を高め、地域活性化に資することを目的とする。

2 プランの位置づけ

姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」（令和3年度～令和12年度）における観光・スポーツ分野目標「にぎわいと感動の創出」の政策1「おもてなし観光交流都市の推進」に係る分野別計画

※ 地域DMO登録に要する姫路観光コンベンションビューロー策定の「観光地域づくり法人形成・確立計画」とも連携

3 計画の柱（参考：姫路市総合計画 ふるさと・ひめじプラン2030より）

〔目指す姿〕

- ・ 観光を通じて、観光客からも市民からも愛されるまちとなり、交流人口が拡大している。
- ・ 観光産業の振興を通じて、まちの賑わいと活力が創出されている。

〔目指す姿を実現するための市の取組の方向性〕

- (1) 観光の振興に寄与する人材の確保・育成
- (2) 生きた歴史・文化・魅力を体感できる観光コンテンツの充実
- (3) 姫路の歴史的・文化的な魅力を伝えるシティプロモーションの展開
- (4) 国内外から高く評価されるコンベンション都市の実現
- (5) 観光客に寄り添った受入環境の整備
- (6) 地域一体となった戦略的・継続的な観光地づくり

4 スケジュール（予定）

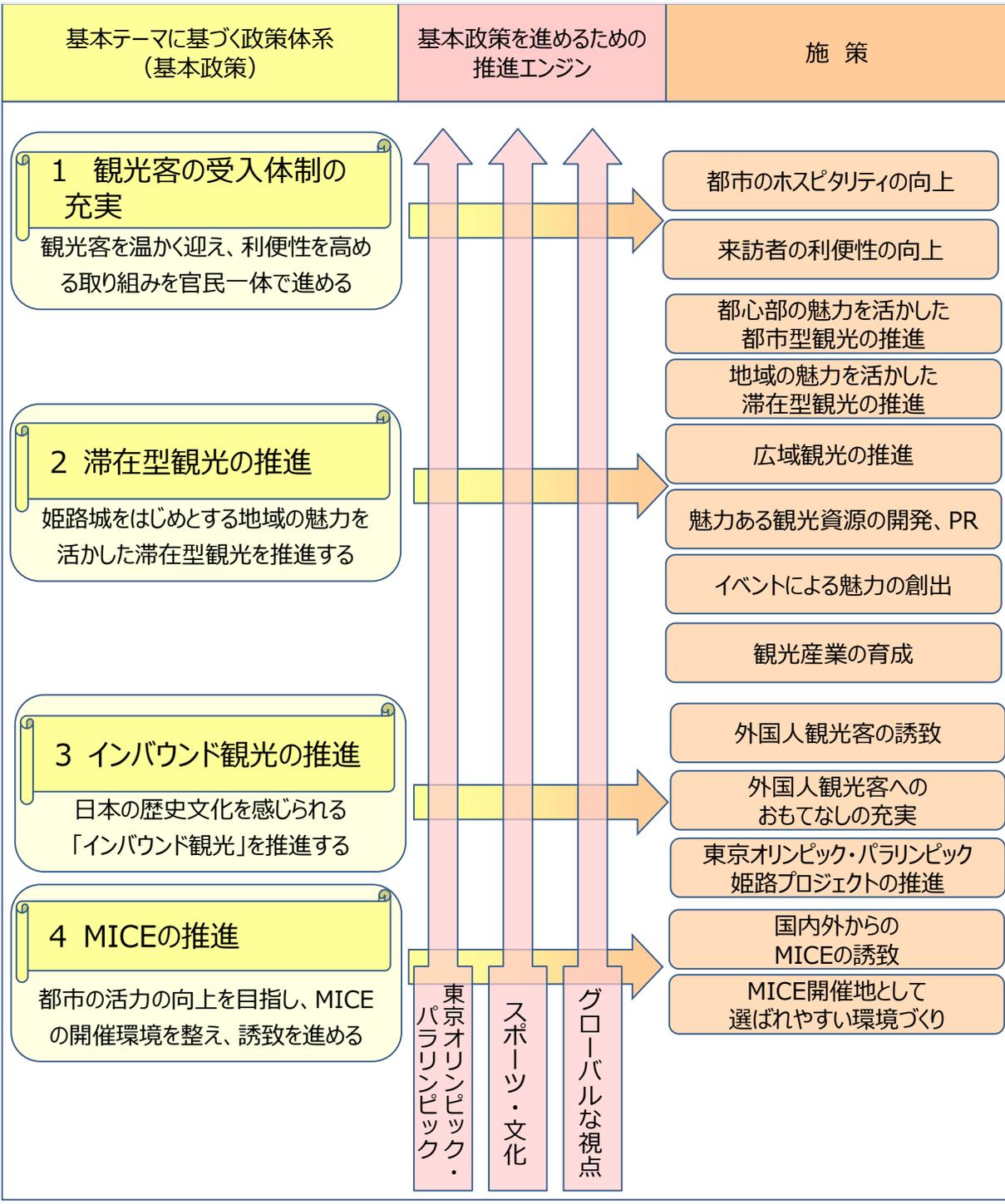
- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 令和3年9月 | 骨子作成 |
| (2) 令和3年10月～11月 | 素案作成 |
| (3) 令和3年12月～令和4年1月 | パブリックコメント実施 |
| (4) 令和4年2月～3月 | 計画改定 |

基本テーマ&基本政策

基本テーマ

「観光を通して、愛し愛されるまち 姫路」

観光客からも市民からも愛されるまち、姫路を目指します。



指標	目標	現計画期間						状況
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
姫路市総入込客数	1千万人以上/年	10,267,000	9,873,000	9,149,000	9,277,000	3,704,000	-	未達成
姫路城外国人入城者数	40万人以上/年	365,180	343,935	386,909	395,003	8,000	-	未達成
市内宿泊施設客室稼働率※1	70%以上/月	11/12月	9/10月	6/6月	10/12月	1/12月	-	概ね達成※2

※1 宿泊施設稼働率は、観光庁「宿泊旅行統計調査」参考
 ※2 令和2年1月頃から新型コロナウイルス感染症の影響あり

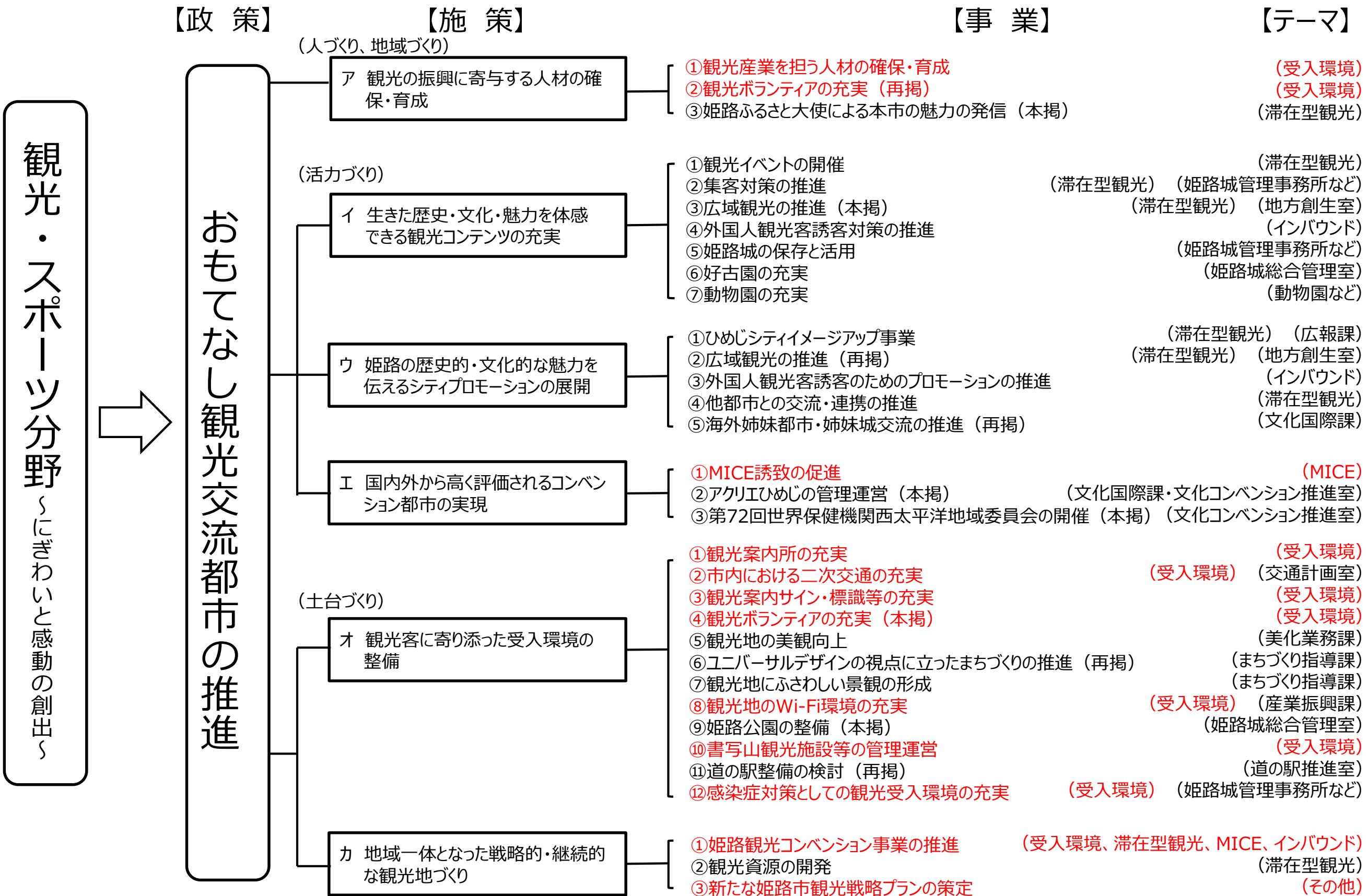
【参考】姫路市新総合計画指標 [令和3年度～]

指標	基準値 [基準年度]	目標（令和4年度）	
		方向性	目標値
総入込客数	9,277千人 [令和1年度]	→	9,277千人
姫路城周辺観光客入込客数	2,817千人 [令和1年度]	→	2,817千人
旅行消費額	96,584百円 [令和1年度]	→	96,584百円
延べ宿泊者数	1,434千人 [令和1年度]	→	1,434千人
来訪者満足度	82% [令和2年度]	↗	83%
リピーター率	61.7% [平成27～令和1年度] [5年平均]	↗	63%
市内宿泊施設客室稼働率	69.8% [令和1年度]	→	69.8%
アクリエひめじ来館者数	38.6万人 [令和1年度]	↗	74.6万人
コンベンション参加者数	46,884人 [令和1年度]	↗	51,600人

姫路市総合計画 観光・スポーツ分野 政策・施策・事業一覧

資料 3 - 4

－ 姫路市総合計画 ふるさと・ひめじプラン2030 実施計画（令和3年度から令和5年度まで）より －



姫路市総合計画 ふるさと・ひめじプラン実施計画での主な事業
 (観光客受入体制の充実、MICEの推進について)

【観光客の受入環境の充実について】

(施策ア 観光産業を担う人材に確保・育成)

事業名	細事業名 (事業内容)
観光産業を担う人材の確保・育成	DMO を核とした観光地域づくり (再掲)
観光ボランティアの充実 (再掲)	観光ボランティア活動への支援
姫路ふるさと大使による本市の魅力発信 (再掲)	

(施策オ 観光客に寄り添った受入環境の整備)

事業名	細事業名 (事業内容)
観光案内所の充実	JR 姫路駅観光案内所の充実
市内における二次交通の充実	城周辺観光ループバス運行への支援 観光型 MaaS の導入に向けた調査・研究 自動運転モビリティ社会実験の実施 (本掲)
観光案内サイン・標識等の充実	案内サインの充実 誘導サインの充実
観光地の Wi-Fi 環境の充実	中心市街地 Wi-Fi 環境の整備・活用 (再掲)
書写山観光施設等の管理運営	書写山観光施設の管理運営 [公共施設のキャッシュレス化] 書写山観光施設の整備 広峰山観光施設等の維持管理
感染症対策としての観光受入環境の充実	公共施設のキャッシュレス化

(施策カ 地域と一体となった戦略的・継続的な観光地づくり)

事業名	細事業名 (事業内容)
姫路観光コンベンション事業の推進	DMO を核とした観光地域づくり (本掲) 姫路観光コンベンションビューローへの支援

【MICEの推進について】

(施策エ 国内外から高く評価されるコンベンション都市の充実)

事業名	細事業名 (事業内容)
MICE 誘致の促進	MICE 施設の PR・誘致活動 (アクリエひめじを活用した MICE 誘致) 宿泊施設環境整備支援

(施策カ 地域と一体となった戦略的・継続的な観光地づくり)

事業名	細事業名 (事業内容)
姫路観光コンベンション事業の推進	姫路観光コンベンションビューローへの支援

分類	次期観光戦略プラン期間						
	2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)	2024年度(令和6年度)	2025年度(令和7年度)	2026年度(令和8年度)
オリンピック等		7月23日～8月8日 ●東京オリンピック 8月24日～9月5日 ●東京パラリンピック	5月13日～29日 ●ワールドマスターズゲームズ2021関西		7月26日～8月11日 ●パリオリンピック 8月27日～9月7日 ●パリパラリンピック	4月13日～10月13日 ●大阪・関西万博	
イベント等	4月上旬 ●姫路城観桜会【中止】・夜桜会【中止】 ●好古園夜桜会【中止】 5月 ●書写山新緑まつり【中止】 5月・11月 ●姫路お城まつり【中止】 6月13、14日 ●姫路ゆかたまつり【中止】 10月 ●ル・ボン国際音楽祭2020【中止】 10月1日 ●姫路城観月会(オンライン) 10月30日～11月8日 ●HIMEJI CASTLE NINJA NIGHT 12月18日～27日 ●姫路城フォーシーズンファンタジア hitotc 2月 ●姫路城特別公開【通年】 2月28日 ●姫路城マラソン2021【中止】	4月上旬 ●姫路城観桜会【中止】・夜桜会【通年】 ●好古園夜桜会【通年】 5月 ●書写山新緑まつり【中止】 5月21日 11月6・7日 ●姫路お城まつり ●姫路お城まつり (薪能) (ハレト・大名行列) 6月 ●姫路ゆかたまつり【中止】 9月1日 ●アクリエひめじ開館(23年度までオープニングシリーズ) 9月21日 ●姫路城観月会(オンライン) 10月25日～29日 ●第72回WHO西太平洋地域委員会 10月 ●ル・ボン国際音楽祭2021【通年】 11月 ●姫路城ナイトイベント【通年】 ●好古園紅葉会【通年】 ●書写山もみじまつり【通年】 2月下旬 ●姫路城マラソン2022(予定)【通年】 年度末 新中央卸売市場開場●	4月上旬 ●姫路城観桜会【通年】 5月 ●書写山新緑まつり【通年】 5月 ●姫路お城まつり(予定)【通年】 6月 ●姫路ゆかたまつり【通年】	7月～9月 ●JRDESTINATIONキャンペーン			
(参考) 姫路市内の 節目等	9月6日 ●市民プール・手柄山遊園閉園 4月18日 ●馬山市姉妹都市提携20周年 7月 ●旧三木家住宅公開10周年 10月 ●姫路観光コンベンションビューロー 候補DMO登録	4月 ●文学館開館30周年 ●新総合計画策定 (令和3年度-令和12年度) 9月 ●姫路FC設立20周年 ●姫路観光コンベンションビューロー登録DMO登録(予定) ●動物園開園70周年	11月 ●松本市姉妹都市提携55周年 ●フェニックス市姉妹都市提携45周年 ●昌原市姉妹都市提携20周年(延期) 5月 ●はりま姫路総合医療センター開院 3月 ●鳥取市姉妹都市提携50周年	●姫路城世界遺産登録30周年	●姫路市制135周年 ●コンウヰ城姉妹提携5周年	●ノイシュバントウン交流10周年 ●スポーツ施設第1期整備目標完了(予定) 2025年度 ●手柄山中央公園第1期整備完了(予定)	春 ●JR手柄-英賀保間新駅開業(予定) 11月 松本市姉妹都市提携60周年● 3月 4町合併20周年● 2026年度中(目標) ●道の駅開駅 2026年度以降 ●手柄山中央公園第2期整備開始(予定)

「観光客の受入体制の充実」について

観光地としての魅力向上、心地よく快適に滞在できる環境づくりを目指し、地域一体となって観光振興に取り組み、まち全体で観光客を温かく迎える雰囲気づくりの醸成のほか、地域の魅力を伝えるガイドの育成、団体のネットワーク化など、おもてなしの人づくりを推進している。

1 都市のホスピタリティの向上

- ① 地域が一体となった取り組みの推進
 - ア 市民・企業等によるイベントボランティア
 - イ 姫路検定による姫路の再発見
 - ウ DMOによる多様な観光事業者等との連携
 - エ おもてなし研修

- ② 観光施設における受入体制の整備
 - ア 多言語観光サイン、観光情報の提供
 - イ 観光施設等でのWi-Fi整備

- ③ 観光客の安全対策の充実
 - ア 非常時における観光客の安全体制
 - イ 外国人観光客への案内体制の構築
 - ウ イベントにおける安心安全マニュアル整備



姫路城マラソンボランティア



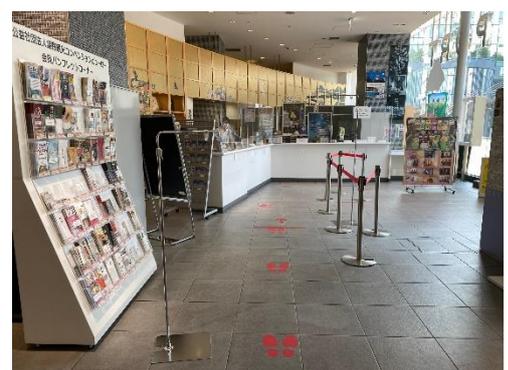
おもてなし研修



姫路城展示・サイン

2 来訪者の利便性の向上

- ① 観光案内所の充実
 - ア 英語対応スタッフ常駐、広域観光案内
(JNTO 外国人観光案内所認定制度カテゴリー
2 認定)
 - イ 案内カウンター・デジタルサイネージ・情報
システムの更新等による案内機能強化



姫路市観光案内所

② 観光情報の充実

- ア 観光パンフレット・ウェブサイトの充実
- イ 観光客利便情報（免税店・ロッカー等）の収集提供

③ 公共交通の利便性の向上

- ア 公共交通機関との連携
- イ 交通情報ツールの提供



姫ちやりサイクルポート

④ 市内における二次交通の充実

- ア 城周辺観光ループバスの運行
- イ レンタサイクル（姫ちやり）の運行

⑤ ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりの推進

- ア 観光施設等における多言語化、トイレのバリアフリー化
- イ ウォーカブルな環境づくり



大手前通りを活用したイベント



電動自動車椅子「RakuRo」

「MICEの推進」について

本市の強みであるものづくり産業をはじめ、地域の企業・関係者がMICE開催に関わる環境づくりを進めるとともに、新コンベンションセンターの整備によって、誘致対象規模を拡大し、さらに経済効果が大きく、次代の産業の創造につながるMICEの誘致を進めている。

1 国内外からのMICE誘致

① 姫路市の強みを活かしたMICE誘致

- ア 世界遺産姫路城を活かしたMICE誘致
- イ 広域連携によるMICE誘致、受入れ
- ウ ユニークベニューHIMJIプランによる誘致



医療系学会

② 産学公が一体となった誘致の促進

- ア 大学、Spring-8やSACLAなど世界的な科学技術研究施設等、MICE会場等との連携強化、誘致促進



姫路城におけるユニークベニュー

※姫路観光CB開催支援等件数

年度	H29	H30	R1	R2	R3
開催件数	89	121	87	4	4
支援件数	69	83	77	4	4
学会・研究会	17	20	20	2	0
うち、国際会議	8	2	3	0	0
大会・総会	22	23	31	2	1
スポーツ・展示会等	30	40	26	0	3
経済波及効果額	25億8,600万円	34億900万円	37億4,100万円	1億3,500万円	—

※令和2年度は、73件予定のところ、69件中止

※令和3年度は、8月1日現在（予定含む。）

2 MICE開催地として選ばれやすい環境づくり

① MICE支援体制の充実

- ア 相談支援窓口を姫路観光CBに一本化
- イ 開催支援メニューの充実
(コンベンション開催補助金(最大200万円)、シャトルバス補助金、
観光バス補助金、エクスカーションバス補助金の交付、
観光パンフ・観光施設割引券・コンベンションバッグの配布、歓迎看板掲出)
- ウ アフターコンベンションの充実 (エクスカーション)



② MICE施設の設置及び活用

- ア 文化コンベンションセンター (アクリエひめじ) の設置
- イ オープニングシリーズにおける多様な催事の実施
- ウ 新たなMICE開催の創出



アクリエひめじ

③ MICE施設情報等の共有

- ア MICE開催支援ツール・サイトの充実



姫路観光CB ホームページ「ひめのみち」



展示場



大ホール